

長久手市スポーツ推進計画

中間見直し

スポーツで つなぐつながる 長久手
～長く元気に育てあう～



令和 7 年 3 月

長久手市 教育委員会

長久手市スポーツ推進計画

目次

第1章 計画の概要	1
1 計画見直しの趣旨.....	3
2 本計画におけるスポーツの考え方.....	3
3 計画の位置づけ.....	4
4 計画の期間.....	4
第2章 スポーツ推進に関する 現状と課題	5
1 国、愛知県及び長久手市の動向.....	7
2 長久手市の現状.....	10
3 今後の課題.....	35
第3章 計画の基本的な考え方	39
1 基本理念.....	41
2 基本目標.....	41
3 施策体系.....	42
4 成果指標.....	46
第4章 施策の展開	47
1 施策の推進にあたって.....	49
基本目標1 スポーツを健康長寿の原動力にする.....	49
基本目標2 スポーツを地域活性化の推進力にする.....	50
基本目標3 スポーツを支え育てる.....	53
基本目標4 スポーツを楽しむ・親しむ・触れる.....	55
第5章 計画の推進にあたって	59
1 計画の推進.....	61
2 計画の評価・見直し.....	61
資料編	63
アンケート調査結果.....	65
Ⅰ. 調査結果(市民).....	65
Ⅱ. 調査結果(団体).....	87

第 1 章

計画の概要

1 計画見直しの趣旨

スポーツ基本法においては、その地方の実情に即した地方スポーツ推進計画を定めるよう努めることとされています。

本市では、スポーツを通じた幸福で豊かな生活の実現を目指し、令和2(2020)年3月に「長久手市スポーツ推進計画」を策定しました。

「長久手市スポーツ推進計画」では、スポーツとの関わりが少なかった市民も気軽にスポーツを楽しみ、健康に関心を持つことができるように、スポーツの概念をできるだけ幅広く捉えて策定し、「スポーツで つなぐつながる 長久手 ～長く元気に育てあう～」を基本理念に掲げ、様々なスポーツ施策を推進してきました。

このたび、本計画の策定から5年が経過することから、これまでの施策を評価し、課題を整理するとともに、国の「第3期スポーツ基本計画」、県の「愛知県スポーツ推進計画 2023-2027～スポーツがつなぐ愛知の未来～」を踏まえ、本計画後期に取り組むべき施策等を明らかにするため、中間見直しを行いました。

2 本計画におけるスポーツの考え方

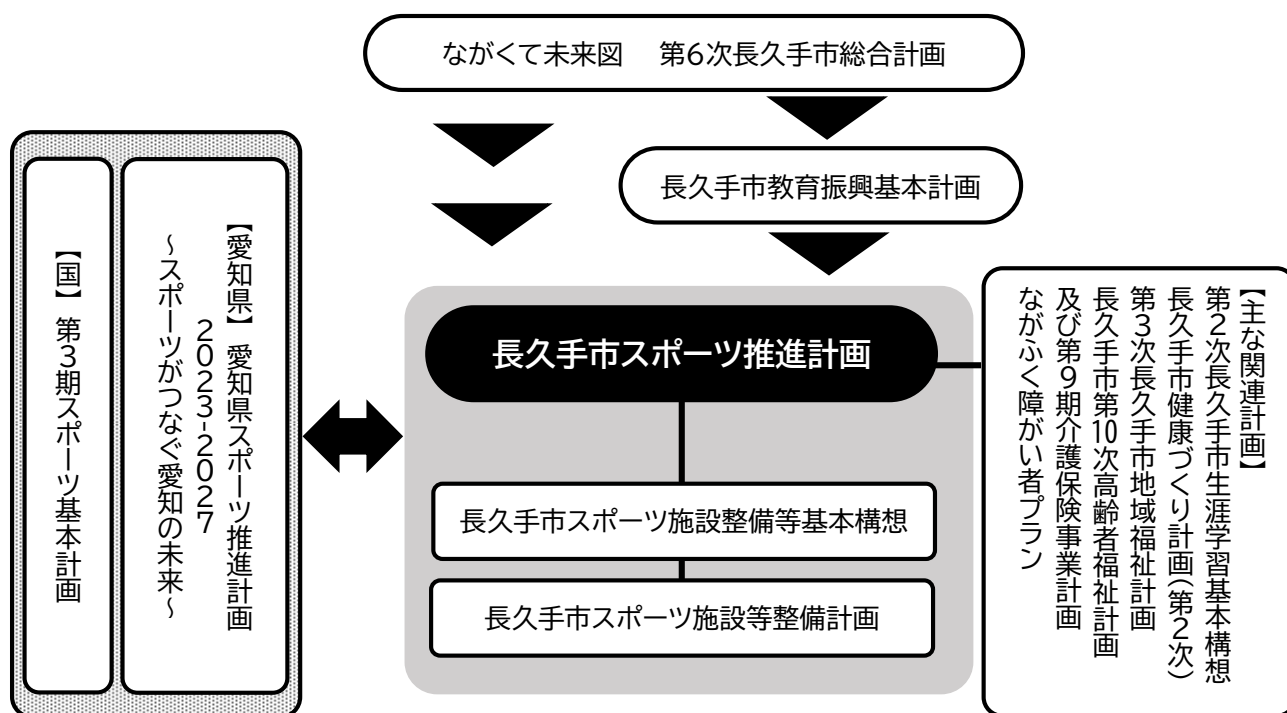
国の「スポーツ基本計画」、愛知県の「いきいきあいちスポーツプラン」の基本施策を考慮しながら、長久手市らしさを取り入れた計画内容としています。

■長久手市におけるスポーツの考え方(定義)

「ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツはもとより、健康づくりのためのウォーキングや散歩、軽い体操、介護予防のためのトレーニングなど、様々な目的を持った全ての身体活動」

3 計画の位置づけ

本計画は、国が策定した「第3期スポーツ基本計画」や愛知県が策定した「愛知県スポーツ推進計画 2023-2027～スポーツがつなぐ愛知の未来～」を踏まえて見直しを行いました。また、第6次長久手市総合計画である「ながくて未来図」をはじめとした長久手市の関連計画との整合性を図るとともに、「長久手市スポーツ施設整備等基本構想」を継承し、策定をしています。



4 計画の期間

令和2(2020)年度から令和11(2029)年度までの10年間とします。

令和6(2024)年度は計画の中間年度となるため、見直しを行いました。

見直し後は、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間の計画の期間とします。

第 2 章

スポーツ推進に関する 現状と課題

1 国、愛知県及び長久手市の動向

(1) 国の動向

■「スポーツ基本法」の制定

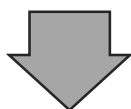
平成23(2011)年6月に制定された「スポーツ基本法」は、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的としています。

■「第2期スポーツ基本計画」

「スポーツ基本計画」では、スポーツの果たす役割の重要性を踏まえ、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」の創出を目指していくことが必要であると示されました。こうした社会の実現に向けて、国をはじめ、地方公共団体、学校、スポーツ団体など、スポーツに関する多様な主体が連携・協働して、スポーツの推進に取り組んでいくための指針となるものです。第2期スポーツ基本計画は平成29(2017)年3月に策定され、中長期的なスポーツ施策の基本方針として4つの指針を掲げていました。

4つの 指針

1. スポーツで「人生」が変わる！
2. スポーツで「社会」を変える！
3. スポーツで「世界」とつながる！
4. スポーツで「未来」を創る！



■「第3期スポーツ基本計画」の策定

令和4(2022)年3月に策定された「第3期スポーツ基本計画」では、コロナ禍において再認識された「スポーツの価値」を定義するとともに、様々な立場にある人が「ともに」活動し、「つながり」を感じながらスポーツを楽しめる共生社会の実現や、東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)のスポーツ・レガシーの発展などに向けて、特に重点的に取り組むべき施策と「新たな3つの視点」が示されました。

新たな 3つの 視点

1. スポーツを「つくる／はぐくむ」
2. 「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる
3. スポーツに「誰もがアクセス」できる

(2) 愛知県の動向

■「いきいきあいちスポーツプラン」

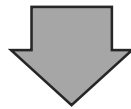
愛知県では、平成25(2013)年3月(平成30(2018)年3月改訂)にスポーツ推進計画「いきいきあいちスポーツプラン」が策定されました。

【計画の趣旨】

県民一人ひとりがそれぞれのライフステージや興味・関心等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、活力のある「スポーツ愛知」を実現するための基本的な方向性を示すものです。

【計画の基本施策】

- ①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
- ②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- ④競技力の向上を目指す取組の推進



■「愛知県スポーツ推進計画 2023-2027～スポーツがつなぐ愛知の未来～」の策定

愛知県では、令和5(2023)年3月にスポーツ推進計画「愛知県スポーツ推進計画 2023-2027～スポーツがつなぐ愛知の未来～」が策定されました。

【計画の趣旨】

社会情勢の変化を踏まえつつ、令和7(2025)年夏の愛知県新体育館の開業や、令和8(2026)年のアジア・アジアパラ競技大会の開催といった、県の大規模プロジェクトを見据え、中長期的な視点で本県のスポーツ振興に取り組むために策定されました。

【計画の基本施策】

- ①多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出
- ②子どものスポーツ活動の充実
- ③トップアスリートの育成、活躍支援
- ④アジア・アジアパラ競技大会の開催、レガシー創出
- ⑤スポーツによる地域活性化

(3) 長久手市の動向

■「長久手市スポーツ施設整備等基本構想」の策定

スポーツ施設整備等基本構想とは、長久手市の第5次総合計画（平成21（2009）年度～30（2018）年度）の『健康プロジェクト「ながくてアクティブ構想」』や第2次新しいまちづくり行程表のフラッグ2「あんしん」の施策⑦「健康づくりの輪を広げ、いくつになっても元気で輝く」において位置づけられている健康スポーツ拠点「スポーツターミナル」を整備するために策定しました。

【長久手市におけるスポーツの定義】

ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツはもとより、健康づくりのためのウォーキングや散歩、軽い体操、介護予防のためのトレーニングなど、様々な目的を持った全ての身体活動。

【長久手市のスポーツ推進の基本的な考え方】

●基本理念

スポーツで つなぐつながる 長久手 ～長く元気に育てあう～

●4つの柱

柱1：スポーツを健康長寿の原動力にする

柱2：スポーツを地域活性化の推進力にする

柱3：スポーツを支え育てる

柱4：スポーツを楽しむ・親しむ・触れる

「長久手市スポーツ施設整備等基本構想」では、上記の内容を基本としており、本計画においてもこの考えを継承したものとします。

■市内体育施設等における指定管理者制度の導入

市内にある体育施設及び杣ヶ池公園の管理運営は市職員により行っていましたが、体育施設の維持管理、スポーツ教室の開催等、スポーツ・健康づくりのサービス提供にノウハウのある民間事業者が管理運営を行うことにより、施設の機能を最大限に活かし、市民へのサービスの向上、経費の削減等を図ることを目的として、令和5（2023）年4月1日から、指定管理者制度を導入しました。

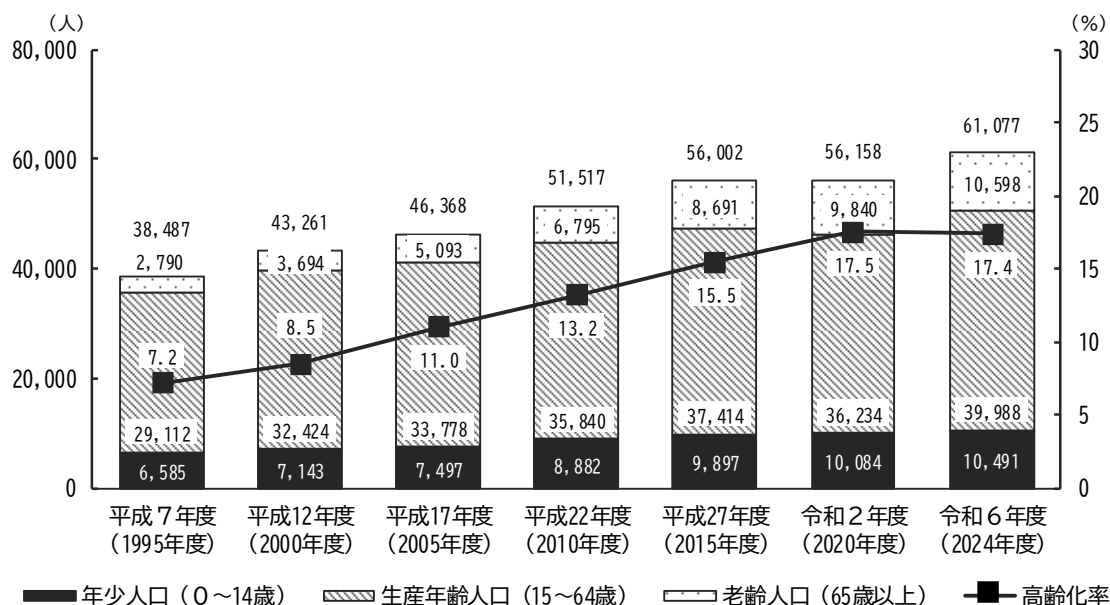
【指定管理の対象となる体育施設等】

- (1) 杣ヶ池体育館
- (2) 長久手スポーツの杜（管理棟を含む。）
- (3) 市民野球場（管理棟を含む。）
- (4) 杣ヶ池テニスコート
- (5) 菖蒲池テニスコート
- (6) 市民テニスコート
- (7) 杣ヶ池公園

2 長久手市の現状

(1) 長久手市におけるスポーツを取り巻く環境

■人口について



年少人口、生産年齢人口、高齢人口のいずれも増加しています。また、高齢化率も増加傾向にあります。

■スポーツ施設の現況について

<スポーツ施設の概要>

本市のスポーツ施設においては、令和5(2023)年度より指定管理者制度を導入しています。

施設の名称	主な施設	利用可能な競技種目等
杵ヶ池体育館	アリーナ	バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球等
	柔剣道場	剣道、柔道等
	卓球室	卓球
	トレーニングルーム	ランニングマシン、エアロバイク等
	ミーティングルーム	
杵ヶ池テニスコート	テニスコート	テニス(砂入人工芝コート)
菖蒲池テニスコート	テニスコート	テニス(砂入人工芝コート)
市民テニスコート	テニスコート	テニス(クレートコート)
長久手スポーツの杜	野球場	野球、ソフトボール等
	多目的広場	サッカー、ソフトボール等
市民野球場	野球場	野球、ソフトボール等

<スポーツ施設利用状況>

(単位:件)

施設	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
市民野球場	458	348	360	324	332
テニスコート	7,320	6,908	8,599	7,509	8,258
長久手スポーツの杜	1,100	807	959	978	847
杣ヶ池体育館 (アリーナ, 柔剣道場等)	6,768	4,972	6,370	5,864	6,912
杣ヶ池体育館 (トレーニングルーム)	10,743	4,863	7,599	8,247	8,808

令和5(2023)年度における施設の利用状況は、令和元(2019)年度と比較して、「テニスコート」と「杣ヶ池体育館(アリーナ、柔剣道場等)」を除き減少しています。

<学校スポーツ開放施設>

学校名	許可されている種目
長久手小学校	バドミントン・インディアカ・レクバレー・バスケットボール(小学生)
西小学校	インディアカ・ビーチボールバレー・卓球・バスケットボール(小学生)・バドミントン・バレーボール
東小学校	バドミントン・インディアカ・ビーチボールバレー・卓球・バスケットボール(小学生)
北小学校	バドミントン・インディアカ・バスケットボール(小学生)・バレーボール
南小学校	バドミントン・インディアカ・卓球・バスケットボール(小学生)・ビーチボールバレー・バレーボール
市が洞小学校	バドミントン・インディアカ・ビーチボールバレー・バレーボール・卓球・バスケットボール(小学生)
長久手中学校	バドミントン・バスケットボール・バレーボール・ソフトバレー
南中学校	バドミントン・バスケットボール・バレーボール・ソフトバレー・レクバレー・ビーチボールバレー
北中学校	バドミントン・バスケットボール・バレーボール・ソフトバレー・レクバレー・ビーチボールバレー

<学校スポーツ開放状況>

(単位:件)

施設	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
運動場(小学校)	833	750	987	763	817
体育館(小学校)	777	416	876	711	741
体育館(中学校)	738	351	758	723	802

小学校のスポーツ開放状況は、令和3(2021)年度を最大として、減少傾向にある一方で、中学校は増加傾向となっています。

(2) 市民アンケート調査の結果（主要項目抜粋）

■市民アンケート調査の概要

【調査目的】本計画見直しの基礎資料として、調査を実施したもの

【調査対象】令和6（2024）年11月1日時点で本市在住の16歳以上の市民2,000人

【調査期間】令和6（2024）年12月6日から12月24日まで

【調査方法】郵送による配布、郵送及びインターネットでの回答

【回収状況】

対象	配布数	有効回答数	有効回答率
16歳以上の市民	2,000件	734件 (紙:524・WEB:210)	36.7%

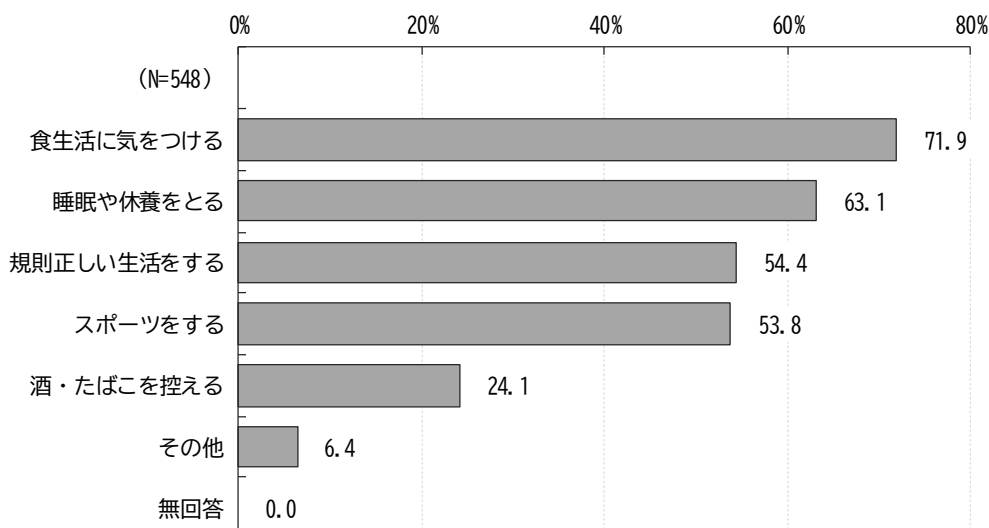
【集計値や図表の表記について】

- ・集計した数値(%)は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。
そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- ・回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- ・クロス集計において母数が30件未満のものは、分析から除外する場合があります。
- ・クロス集計表は上位2位まで着色しています。
(1位:濃いグレー ■■■、2位:薄いグレー ■■■)

■健康や体力維持増進のために心がけていること

あなたが健康や体力維持増進のために心がけていることは何ですか。(複数回答可)

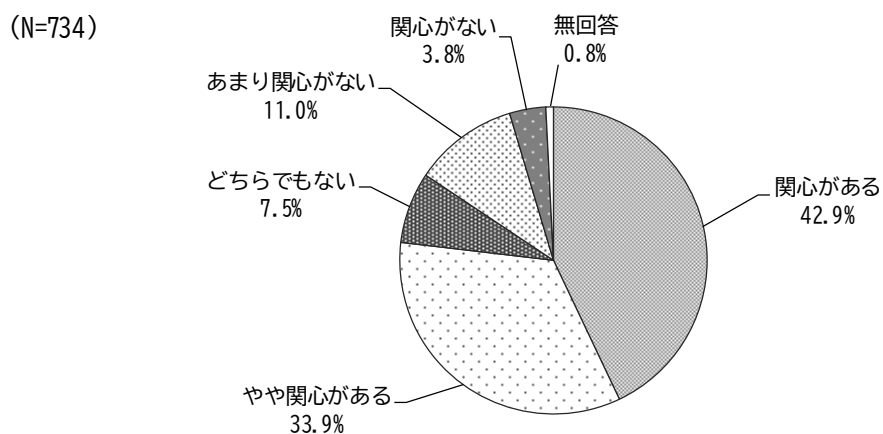
「食生活に気をつける」が71.9%と最も多く、次いで「睡眠や休養をとる」が63.1%、「規則正しい生活をする」が54.4%となっています。



■スポーツ・健康づくりに対する意識について

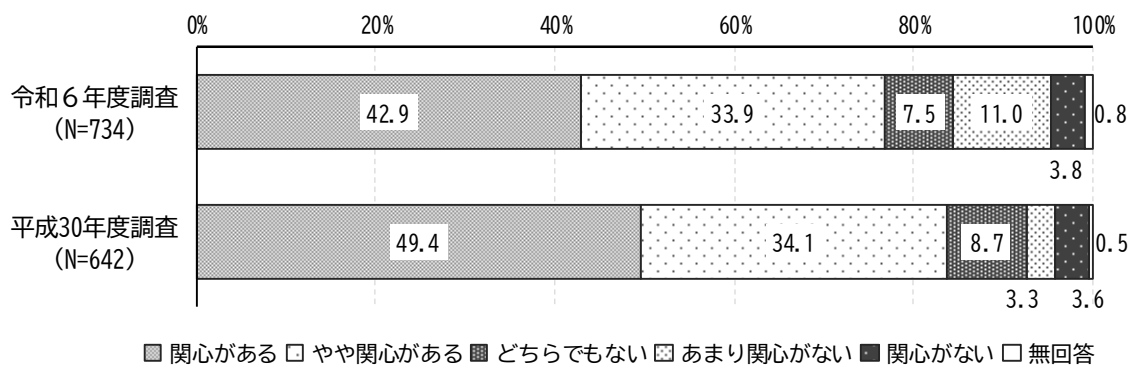
あなたはスポーツに関心がありますか。

『関心がある』回答者の割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は76.8%で、『関心がない』回答者の割合（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）の14.8%を62ポイント上回っています。



【経年比較】

平成30年度調査と比較して、『関心がある』回答者の割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）が6.7ポイント減少しています。



【年齢別】

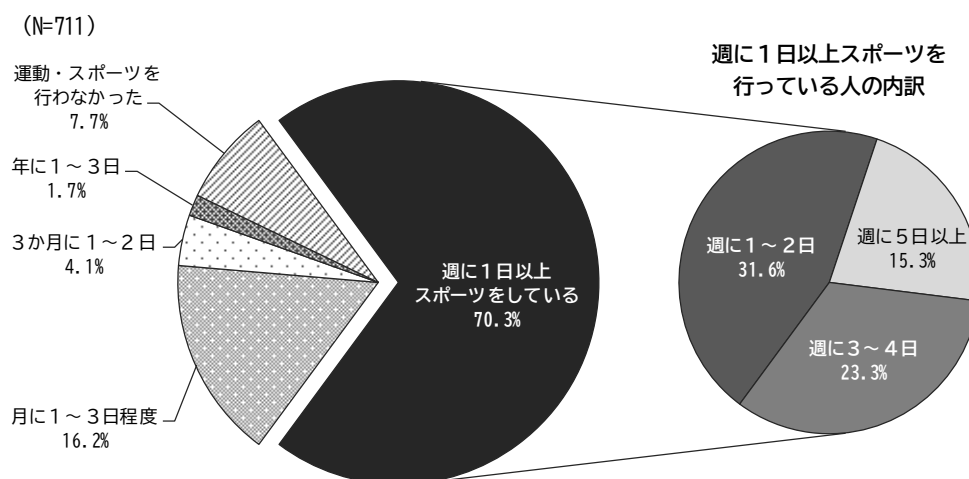
年齢別にみると、『関心がある』回答者の割合（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、ほとんどの年代で 80.0%程度ですが、「70 歳以上」では 70.0%と、他の年代と比較して低くなっています。

上段:回答数 下段:%	合計	関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	関心がない	無回答
全 体	729	313	249	55	81	28	3
	100.0	42.9	34.2	7.5	11.1	3.8	0.4
10歳代	18	5	6	1	3	3	-
	100.0	27.8	33.3	5.6	16.7	16.7	-
20歳代	58	20	27	1	8	2	-
	100.0	34.5	46.6	1.7	13.8	3.4	-
30歳代	91	37	37	6	8	3	-
	100.0	40.7	40.7	6.6	8.8	3.3	-
40歳代	133	64	44	4	17	3	1
	100.0	48.1	33.1	3.0	12.8	2.3	0.8
50歳代	152	71	46	16	13	6	-
	100.0	46.7	30.3	10.5	8.6	3.9	-
60歳代	104	51	33	5	11	4	-
	100.0	49.0	31.7	4.8	10.6	3.8	-
70歳以上	173	65	56	22	21	7	2
	100.0	37.6	32.4	12.7	12.1	4.0	1.2

■スポーツ実施率について

あなたは、普段どれくらいスポーツをしていますか。

スポーツ実施率（週に1日以上運動・スポーツを行っている人の割合）は70.3%となっており、前回調査時の46.5%と、現行計画における目標スポーツ実施率の65.0%のいずれも上回る結果となっています。



【参考】

平成30年度調査時の
スポーツ実施率

46.5%

現行計画の
目標スポーツ実施率

65.0%

【性別】

性別にみると、「男性」、「女性」とともに「週に1～2日」の割合が最も多く、「運動・スポーツを行わなかった」の割合は同程度となっています。

上段:回答数 下段:%	合計	週に5日以上	週に3～4日	週に1～2日	週に1日未満	運動・スポーツを行わなかった	無回答
全 体	724	108	163	221	155	55	22
	100.0	14.9	22.5	30.5	21.4	7.6	3.0
男性	309	54	54	100	68	24	9
	100.0	17.5	17.5	32.4	22.0	7.8	2.9
女性	414	54	108	121	87	31	13
	100.0	13.0	26.1	29.2	21.0	7.5	3.1
その他	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-

【年齢別】

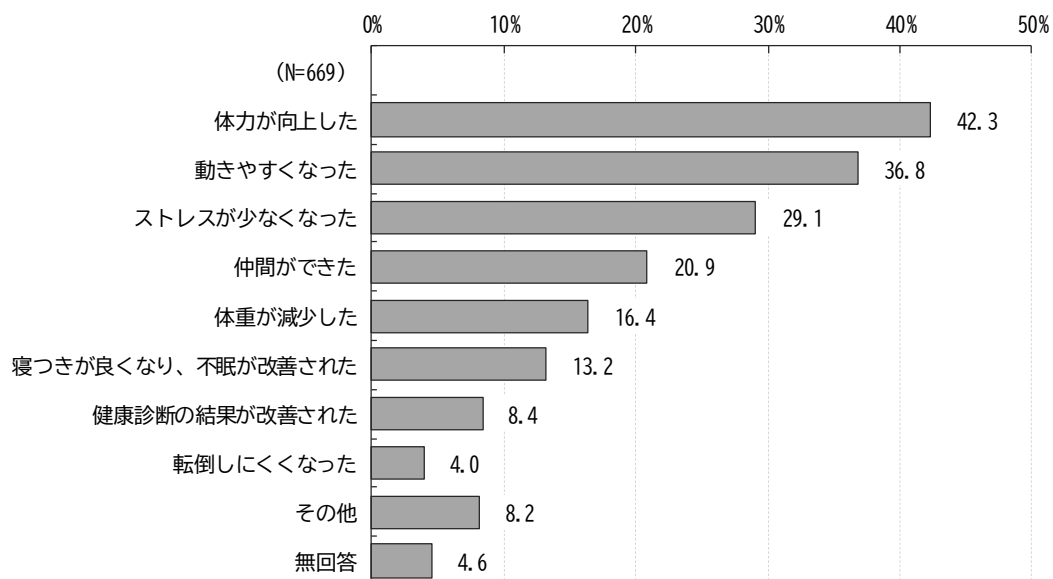
年齢別にみると、『20～50 歳代』では、運動・スポーツの頻度が『週に1日未満』または「運動・スポーツを行わなかった」回答者の割合が高くなっています。

上段:回答数 下段:%	合計	週に5日以上	週に3～4日	週に1～2日	週に1日未満	運動・スポーツを行わなかった	無回答
全 体	729	108	165	223	156	55	22
	100.0	14.8	22.6	30.6	21.4	7.5	3.0
10歳代	18	4	3	7	3	1	-
	100.0	22.2	16.7	38.9	16.7	5.6	-
20歳代	58	13	10	18	14	2	1
	100.0	22.4	17.2	31.0	24.1	3.4	1.7
30歳代	91	8	21	26	25	11	-
	100.0	8.8	23.1	28.6	27.5	12.1	-
40歳代	133	11	25	45	41	8	3
	100.0	8.3	18.8	33.8	30.8	6.0	2.3
50歳代	152	22	32	44	38	15	1
	100.0	14.5	21.1	28.9	25.0	9.9	0.7
60歳代	104	18	27	31	17	8	3
	100.0	17.3	26.0	29.8	16.3	7.7	2.9
70歳以上	173	32	47	52	18	10	14
	100.0	18.5	27.2	30.1	10.4	5.8	8.1

■スポーツを行ったことで実感したこと

あなたは、スポーツをすることで、どのようなことを実感していますか。(複数回答可)

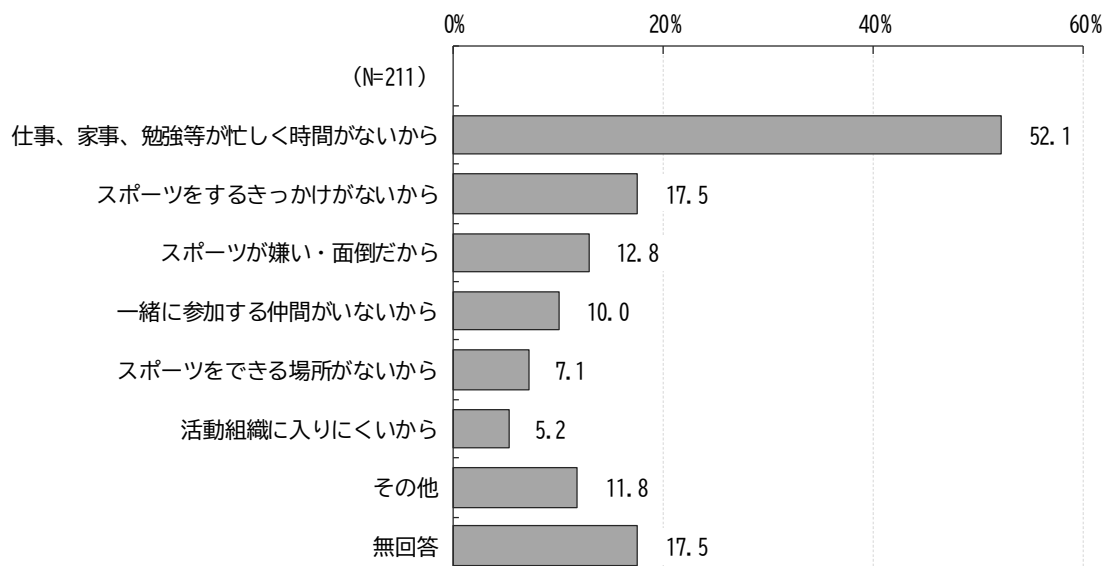
「体力が向上した」が42.3%と最も多く、次いで「動きやすくなった」が36.8%、「ストレスが少なくなった」が29.1%となっています。



■運動・スポーツを行わなかった理由について

あなたがスポーツをほとんどしない理由はどのようなものですか。(複数回答可)

「仕事、家事、勉強等が忙しく時間がないから」が52.1%と特に多く、次いで「スポーツをするきっかけがないから」が17.5%、「スポーツが嫌い・面倒だから」が12.8%となっています。



【性別】

性別にみると、「男性」、「女性」とともに「仕事、家事、勉強等が忙しく時間がないから」の割合が最も多くなっています。

「一緒に参加する仲間がいないから」や「活動組織に入りにくいから」、「スポーツが嫌い・面倒だから」などの理由は、「女性」で特に多くなっています。

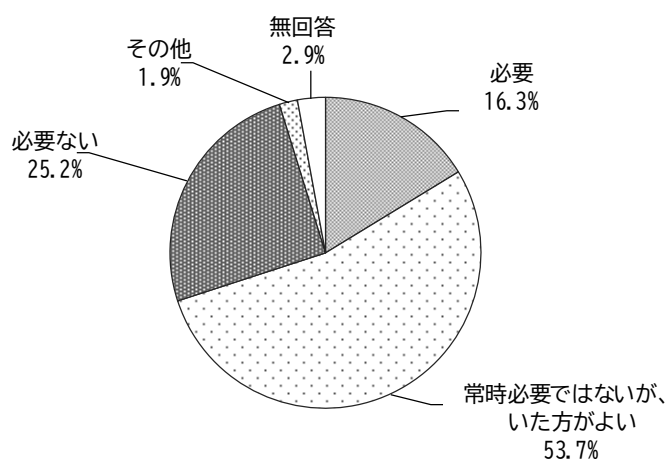
上段:回答数 下段:%	合 計	忙し く、 家事、 勉強 等が	ス ポ ー ツ を す る き っ か け が な い か ら	仲 一 間 が い な い か ら	ス ポ ー ツ を で き る 場 所 が	活 動 組 織 に 入 り に く い か ら	ス ポ ー ツ が 嫌 い ・ 面 倒 だ か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	210	109	37	21	15	11	27	25	37
	100.0	51.9	17.6	10.0	7.1	5.2	12.9	11.9	17.6
男 性	92	48	15	4	9	-	9	12	11
	100.0	52.2	16.3	4.3	9.8	-	9.8	13.0	12.0
女 性	118	61	22	17	6	11	18	13	26
	100.0	51.7	18.6	14.4	5.1	9.3	15.3	11.0	22.0
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■指導者について

スポーツを行う上で、指導してくれる人は必要ですか。

『指導者が必要』だと考えている回答者の割合（「必要」と「常時必要ではないが、いた方がよい」の合計）は70.0%となっています。

(N=734)



【性別】

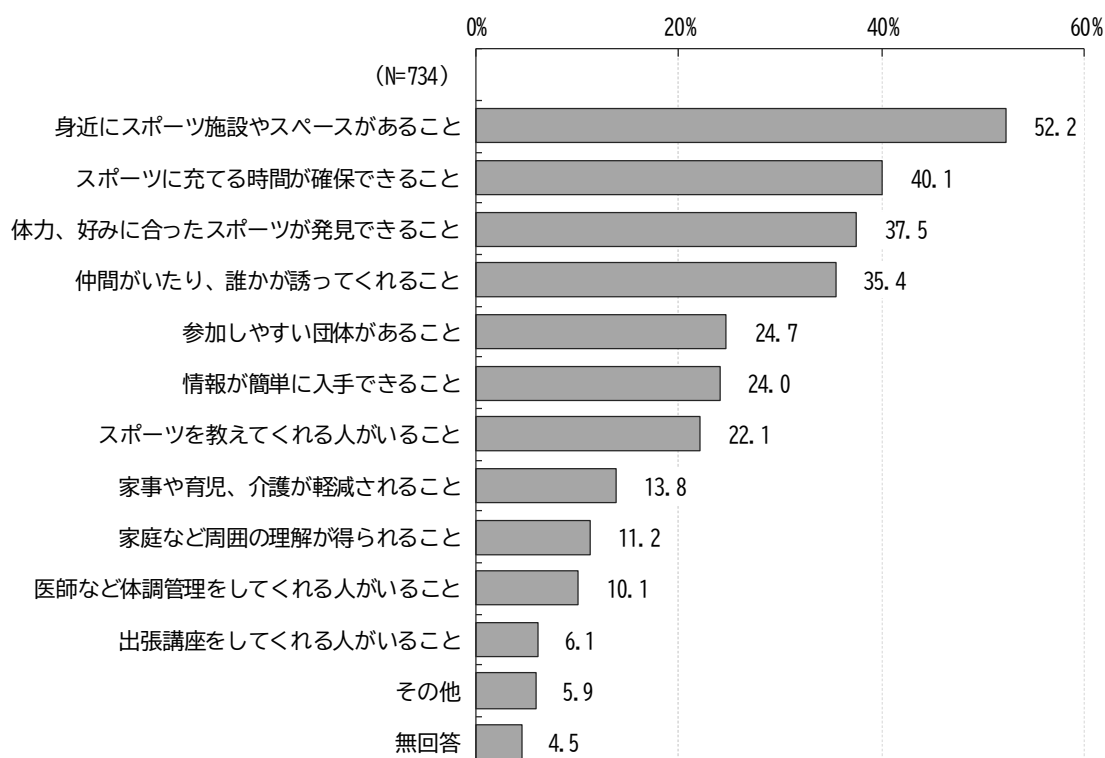
性別にみると、「男性」では「必要ない」の割合が、「女性」では「必要」の割合が、互いと比較して多くなっています。

上段:回答数 下段:%	合計	必要	常時必要 ではないが、 いた方がよい	必要ない	その他	無回答
全 体	724	118	390	182	14	20
	100.0	16.3	53.9	25.1	1.9	2.8
男性	309	25	161	108	9	6
	100.0	8.1	52.1	35.0	2.9	1.9
女性	414	93	228	74	5	14
	100.0	22.5	55.1	17.9	1.2	3.4
その他	1	-	1	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-

■よりスポーツができるようになるには

何が変われば、今まで以上にスポーツができますか。(複数回答可)

「身近にスポーツ施設やスペースがあること」が52.2%と最も多く、次いで「スポーツに充てる時間が確保できること」が40.1%、「体力、好みに合ったスポーツが発見できること」が37.5%となっています。



【性別】

性別にみると、「女性」では「男性」と比較して「情報が簡単に入手できること」や「体力、好みに合ったスポーツが発見できること」、「家事や育児、介護が軽減されること」の割合が多くなっています。

上段:回答数 下段:%	合計	身近にスポーツ施設やスペースがあること	スポーツを教えてくれる人がいること	医師など体調管理をしてくれる人がいること	出張講座をしてくれる人がいること	仲間がいたり、誰かが誘ってくれること	情報が簡単に入手できること	体力、好みに合ったスポーツが発見できること	スポーツに充てる時間が確保できること	家庭など周囲の理解が得られること	家事や育児、介護が軽減されること	参加しやすい団体があること	その他	無回答
全体	724	379	158	71	43	260	175	269	293	81	101	179	43	32
	100.0	52.3	21.8	9.8	5.9	35.9	24.2	37.2	40.5	11.2	14.0	24.7	5.9	4.4
男性	309	163	50	27	9	104	56	90	123	28	25	56	23	12
	100.0	52.8	16.2	8.7	2.9	33.7	18.1	29.1	39.8	9.1	8.1	18.1	7.4	3.9
女性	414	215	108	44	34	156	119	179	170	53	76	123	20	20
	100.0	51.9	26.1	10.6	8.2	37.7	28.7	43.2	41.1	12.8	18.4	29.7	4.8	4.8
その他	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【年齢別】

年齢別にみると、『10～50 歳代』では、「スポーツに充てる時間が確保できること」の割合が多くなっている一方で、『60 歳代以上』では、他の年代と比較して「体力、好みに合ったスポーツが発見できること」の割合が多くなっています。

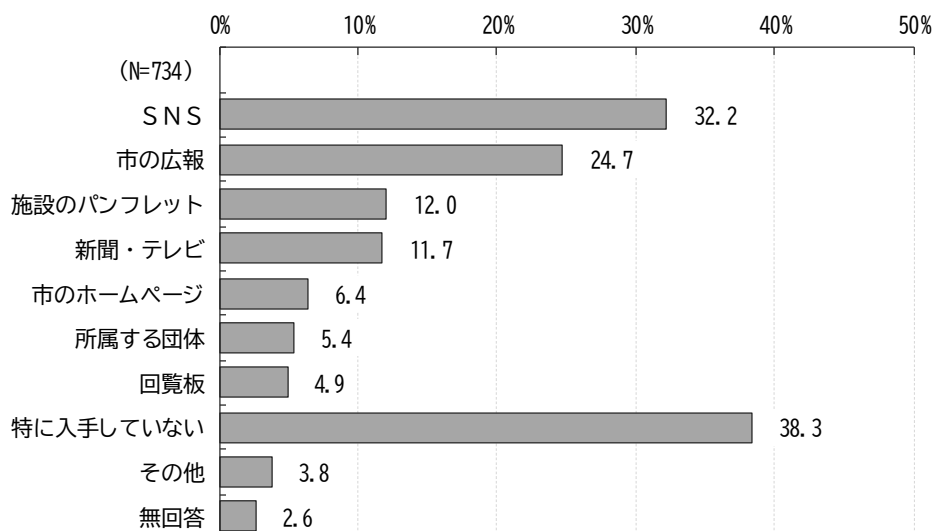
上段:回答数 下段:%	合 計	身近にスポーツ施設や スペースがあること	スポーツを教えてくれる人が いること	医師など体調管理を してくれる人がいること	出張講座をしてくれる人が いること	仲間が誘ったり、 誰かが誘ってくれること	情報が簡単に入手できること	体力、好みに合った スポーツが発見できること	スポーツに充てる時間 が確保できること	家庭など周囲の理解が 得られること	家事や育児、介護が 軽減されること	参加しやすい団体 があること	その他	無 回 答
全 体	729 100.0	380 52.1	161 22.1	73 10.0	45 6.2	260 35.7	176 24.1	273 37.4	292 40.1	82 11.2	101 13.9	179 24.6	43 5.9	32 4.4
10歳代	18 100.0	11 61.1	3 16.7	2 11.1	- -	11 61.1	1 5.6	4 22.2	7 38.9	2 11.1	2 11.1	5 27.8	1 5.6	1 5.6
20歳代	58 100.0	41 70.7	17 29.3	6 10.3	8 13.8	27 46.6	13 22.4	21 36.2	30 51.7	5 8.6	8 13.8	13 22.4	2 3.4	1 1.7
30歳代	91 100.0	53 58.2	14 15.4	6 6.6	4 4.4	42 46.2	26 28.6	22 24.2	52 57.1	27 29.7	34 37.4	22 24.2	8 8.8	1 1.1
40歳代	133 100.0	67 50.4	34 25.6	8 6.0	7 5.3	47 35.3	33 24.8	42 31.6	72 54.1	19 14.3	30 22.6	25 18.8	7 5.3	3 2.3
50歳代	152 100.0	86 56.6	30 19.7	11 7.2	8 5.3	55 36.2	40 26.3	60 39.5	79 52.0	17 11.2	18 11.8	44 28.9	5 3.3	2 1.3
60歳代	104 100.0	58 55.8	28 26.9	9 8.7	7 6.7	35 33.7	29 27.9	46 44.2	32 30.8	4 3.8	5 4.8	28 26.9	6 5.8	1 1.0
70歳以上	173 100.0	64 37.0	35 20.2	31 17.9	11 6.4	43 24.9	34 19.7	78 45.1	20 11.6	8 4.6	4 2.3	42 24.3	14 8.1	23 13.3

■スポーツ情報の入手方法について

どのようにしてスポーツ活動の情報を入手していますか。(複数回答可)

情報の入手方法としては「SNS」が32.2%と最も多く、次いで「市の広報」が24.7%、「新聞・テレビ」と「施設のパンフレット」が約12.0%となっています。

一方で、38.3%は「特に入手していない」と回答しています。



【性別】

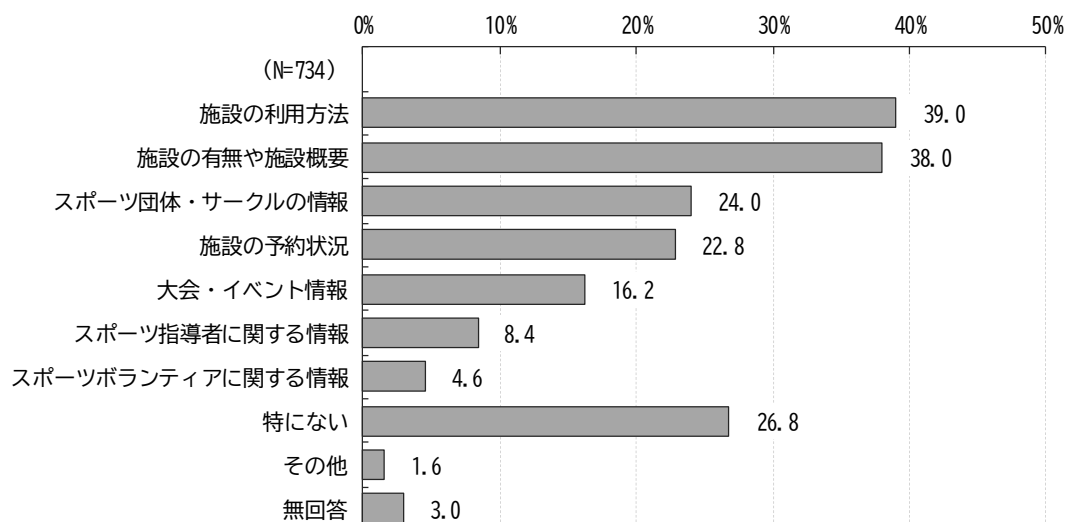
性別にみると、「男性」では「女性」と比較して、「新聞・テレビ」の割合が多くなっており、「女性」では「男性」と比較して「市の広報」や「施設のパンフレット」の割合が多くなっています。

上段:回答数 下段:%	合計	SNS	市の広報	市のホームページ	新聞・テレビ	施設のパンフレット	所属する団体	回覧板	特に入手していない	その他	無回答
全体	724	236	179	47	84	88	40	35	276	28	18
	100.0	32.6	24.7	6.5	11.6	12.2	5.5	4.8	38.1	3.9	2.5
男性	309	100	53	19	47	28	20	19	123	14	7
	100.0	32.4	17.2	6.1	15.2	9.1	6.5	6.1	39.8	4.5	2.3
女性	414	135	125	28	37	60	20	15	153	14	11
	100.0	32.6	30.2	6.8	8.9	14.5	4.8	3.6	37.0	3.4	2.7
その他	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-

■入手したいスポーツ情報について

スポーツ活動に関して、どのような情報が欲しいですか。(複数回答可)

「特にない」を除くと、「施設の利用方法」が39.0%と最も多く、次いで「施設の有無や施設概要」が38.0%、「スポーツ団体・サークルの情報」が24.0%となっています。

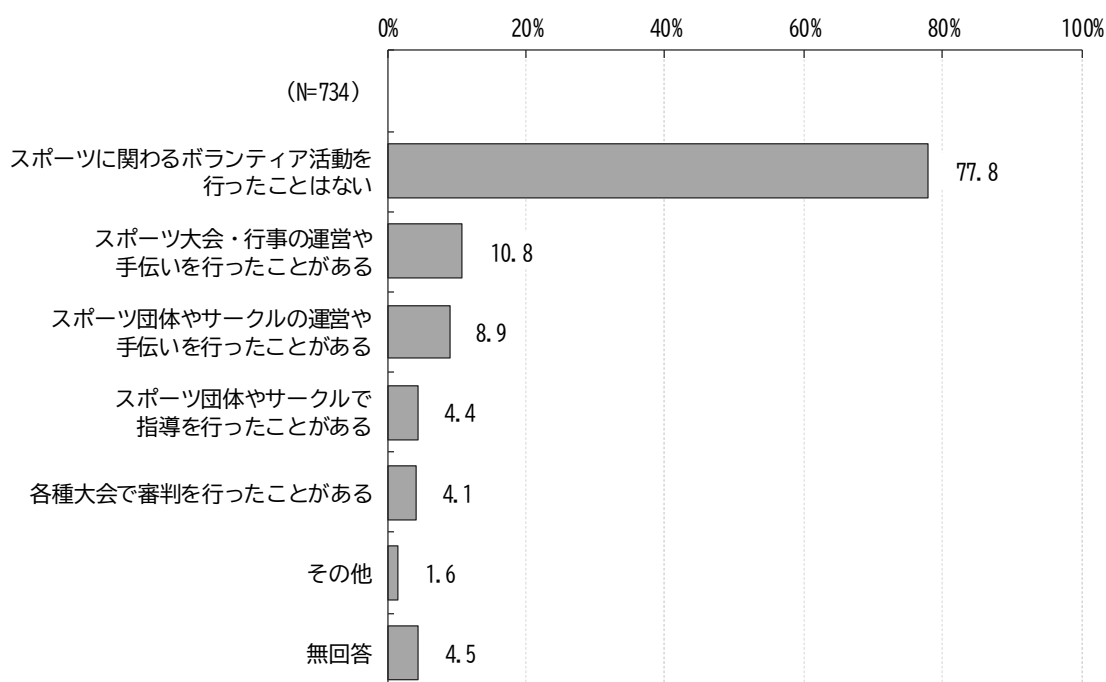


■スポーツに関わるボランティア活動について

あなたは、スポーツに関わるボランティア活動を行ったことはありますか。(複数回答可)

8割近くの回答者が「スポーツに関わるボランティア活動を行ったことはない」と回答しており、スポーツに関わるボランティア活動の経験がある人は少ないことがうかがえます。

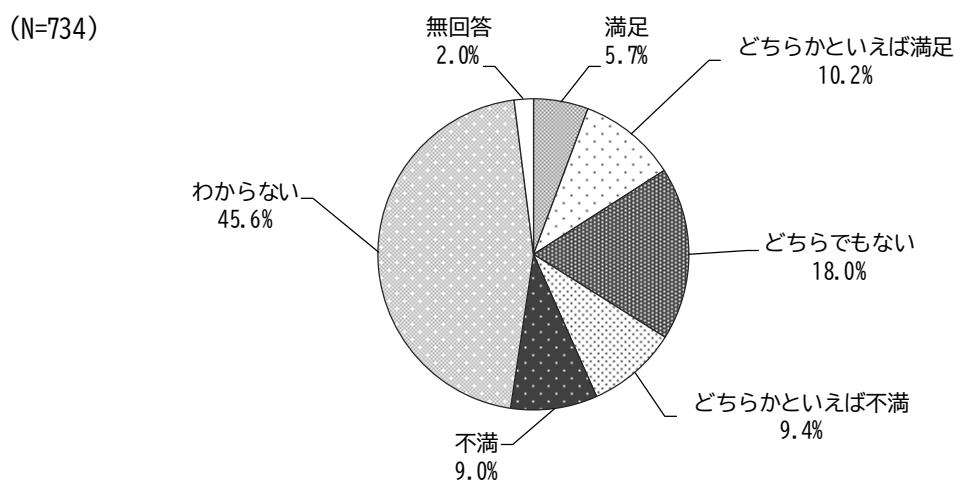
経験のあるボランティア活動としては、「スポーツ大会・行事の運営や手伝いを行ったことがある」と「スポーツ団体やサークルの運営や手伝いを行ったことがある」が約10.0%となっています。



■スポーツ施設の満足度について

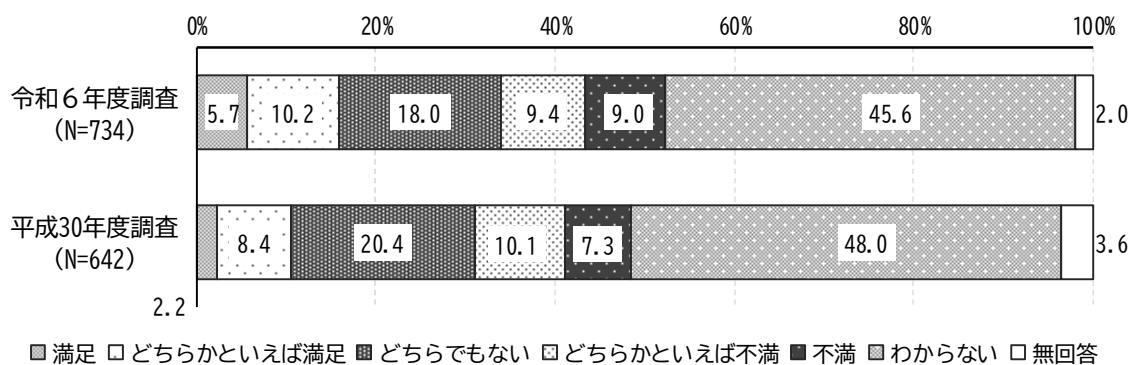
市の設置するスポーツ施設（杣ヶ池体育館、杣ヶ池テニスコート、菖蒲池テニスコート、市民テニスコート、市民野球場、長久手スポーツの杜）に満足していますか。

市のスポーツ施設に『満足している』回答者の割合（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）は 15.9%、『不満』な回答者の割合（「どちらかといえば不満」と「不満」の合計）は 18.4% となっており、『不満』な回答者の割合の方が 2.5 ポイント高くなっています。



【経年比較】

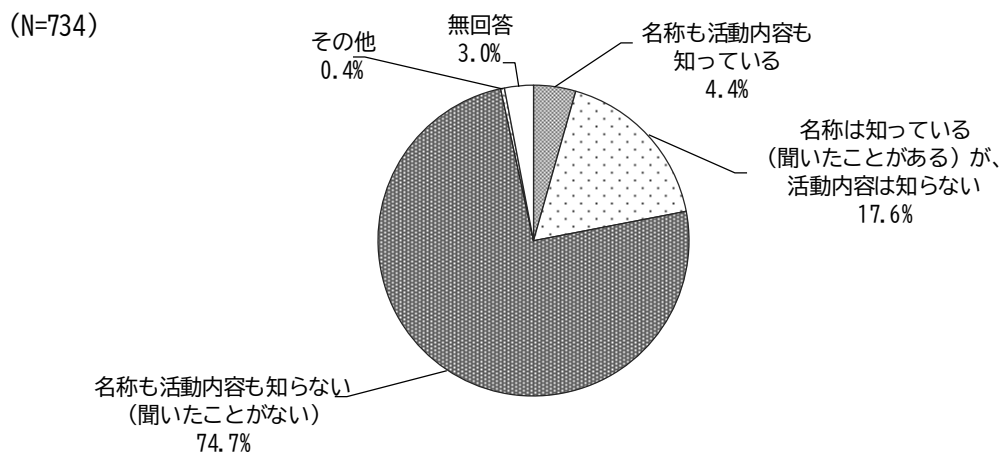
平成 30 年度調査と比較して、『満足している』回答者の割合（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）が 5.3 ポイント増加しています。



■スポーツ推進委員の認知度について

市では、スポーツ推進委員が「ジョギングフェスティバル」や「ニュースポーツフェスティバル」など、市のスポーツ推進を目的に活動していますが、この委員の存在を知っていますか。

『スポーツ推進委員の認知度』（「名称も活動内容も知っている」と「名称は知っている（聞いたことがある）が、活動内容は知らない」の合計）は 22.0% となっており、多くの人がスポーツ推進委員について知らないという結果でした。

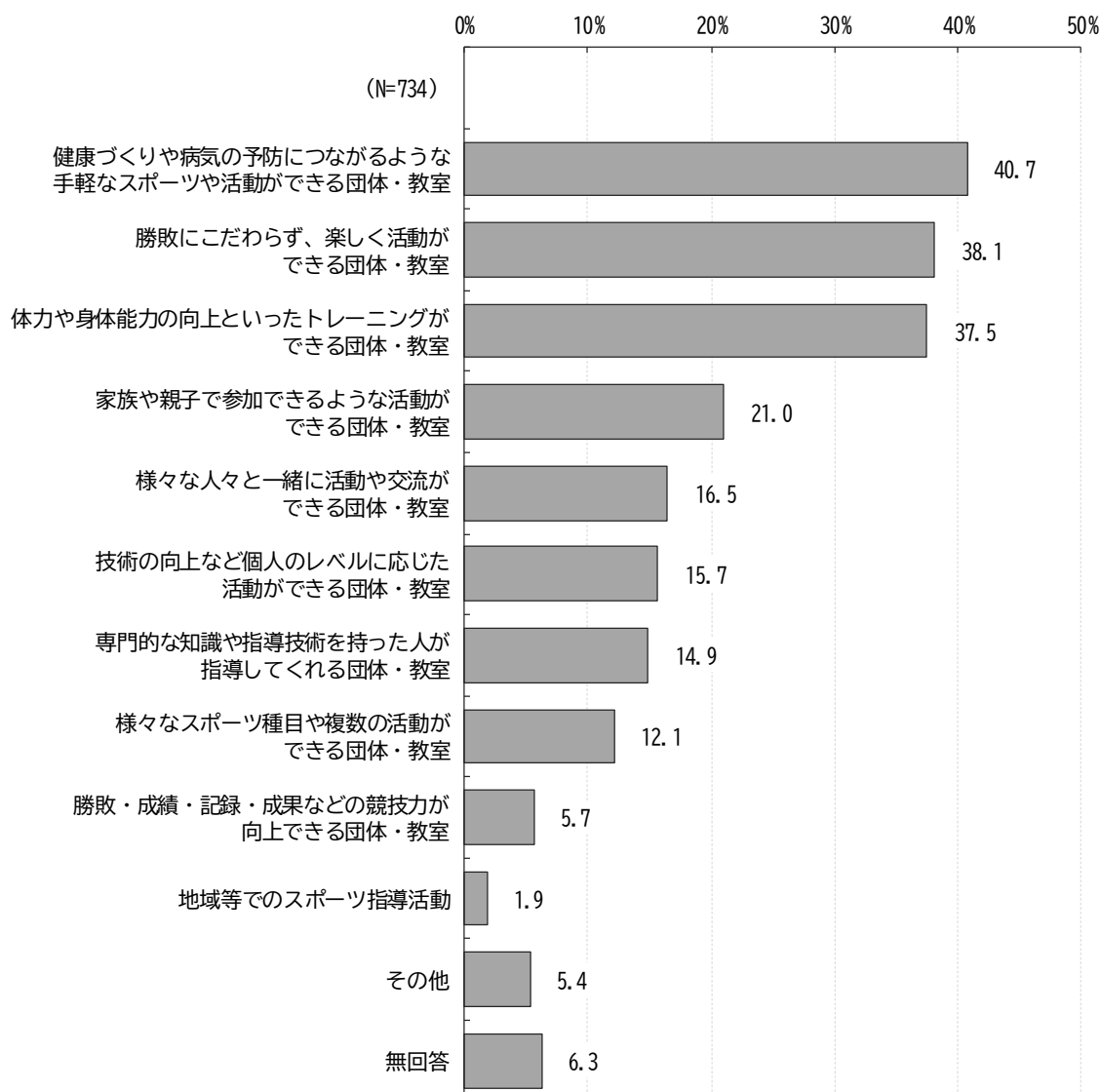


■参加したいスポーツ団体・教室について

どのようなことができるスポーツ団体・教室があれば、参加したいですか。(複数回答可)

「健康づくりや病気の予防につながるような手軽なスポーツや活動ができる団体・教室」が40.7%と最も多く、次いで「勝敗にこだわらず、楽しく活動ができる団体・教室」が38.1%と、能力に関わらず気軽に参加できる団体や教室であれば参加したいという回答が多くなっています。

また、「体力や身体能力の向上といったトレーニングができる団体・教室」も37.5%と多くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、「健康づくりや病気の予防につながるような手軽なスポーツや活動ができる団体・教室」は、『60歳代以上』で50.0%以上と多くなっています。

「家族や親子で参加できるような活動ができる団体・教室」は、「30歳代」で51.6%と、他の年代と比較して多くなっています。

上段:回答数 下段:%	合 計	競勝 技敗・成 力が向績・記 上で録・成 できる果な る団体・教 室	技活 術の向 上など 個人 のレ ベル に応 じた	体力 や身 体能 力の 向上 とい った	指導 的知 識や 指導 技術 を持 った 人が	で勝 敗に こだ わら ず、 楽し く活 動が	で様 々な スポ ーツ 種目 や複 数の 活動 が	活家 動が でき る団 体・ 教室	活様 々な 人々 と一 緒に でき る団 体・ 教室	活健 康づ くり や病 気の 予防 に つな がる よう な手 軽な スポ ーツ や	地域 等 で の スポ ーツ 指 導 活 動	そ の 他	無 回 答
全 体	729	42	115	272	108	277	87	153	120	295	14	40	45
	100.0	5.8	15.8	37.3	14.8	38.0	11.9	21.0	16.5	40.5	1.9	5.5	6.2
10歳代	18	4	3	3	2	6	3	1	3	7	-	2	1
	100.0	22.2	16.7	16.7	11.1	33.3	16.7	5.6	16.7	38.9	-	11.1	5.6
20歳代	58	9	13	22	8	28	16	15	13	18	1	1	-
	100.0	15.5	22.4	37.9	13.8	48.3	27.6	25.9	22.4	31.0	1.7	1.7	-
30歳代	91	7	16	38	11	42	15	47	17	23	1	5	1
	100.0	7.7	17.6	41.8	12.1	46.2	16.5	51.6	18.7	25.3	1.1	5.5	1.1
40歳代	133	11	27	55	32	62	11	44	24	46	2	7	3
	100.0	8.3	20.3	41.4	24.1	46.6	8.3	33.1	18.0	34.6	1.5	5.3	2.3
50歳代	152	7	29	66	25	59	18	27	29	56	1	7	6
	100.0	4.6	19.1	43.4	16.4	38.8	11.8	17.8	19.1	36.8	0.7	4.6	3.9
60歳代	104	2	16	45	18	27	15	10	13	53	3	8	4
	100.0	1.9	15.4	43.3	17.3	26.0	14.4	9.6	12.5	51.0	2.9	7.7	3.8
70歳以上	173	2	11	43	12	53	9	9	21	92	6	10	30
	100.0	1.2	6.4	24.9	6.9	30.6	5.2	5.2	12.1	53.2	3.5	5.8	17.3

【運動実施率別】

運動実施率別にみると、運動・スポーツの実施有無や頻度に関わらず「勝敗にこだわらず、楽しく活動ができる団体・教室」や「健康づくりや病気の予防につながるような手軽なスポーツや活動ができる団体・教室」の割合は多くなっています。

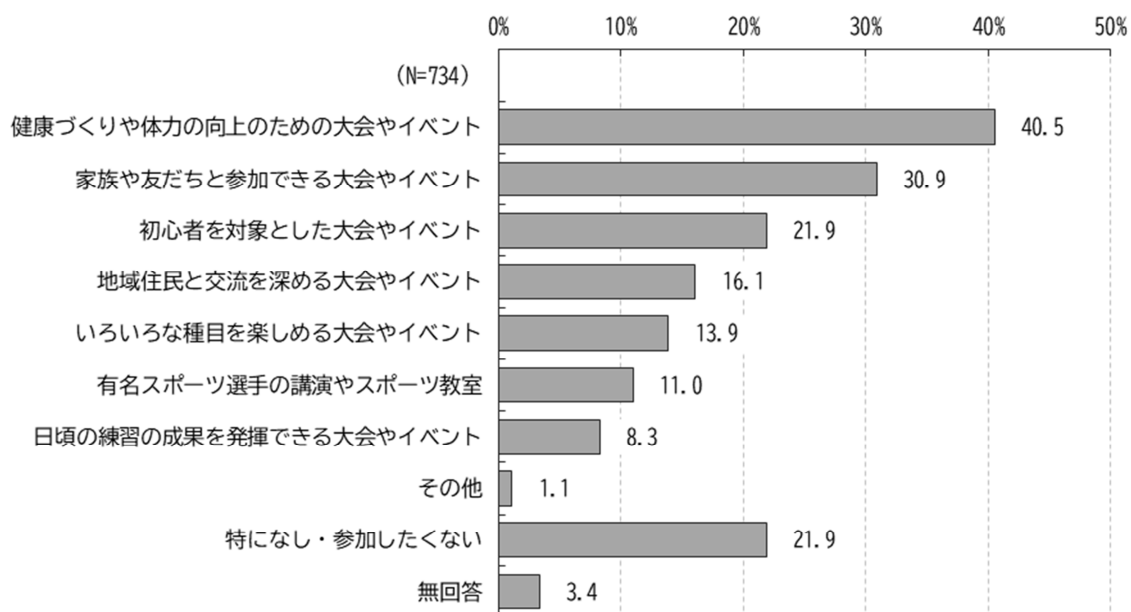
一方で、「体力や身体能力の向上といったトレーニングができる団体・教室」は、頻度に関わらず運動・スポーツをしている回答者では40.0%前後であるのに対し、「運動・スポーツを行わなかった」回答者では14.5%と、少なくなっています。

上段:回答数 下段:%	合 計	勝敗・成績・記録・成果などの 競技力が向上できる 団体・教室	技術の向上など個人 のレベルに応じた 活動ができる団体・ 教室	体力や身体能力の 向上といった トレーニングができる 団体・教室	専門的な知識や指導 技術を持った人が 指導する団体・教室	勝敗にこだわらず、 楽しく活動が できる団体・教室	様々なスポーツ種目 や複数の活動が できる団体・教室	家族や親子で参加 できるような 活動ができる団体・ 教室	様々な人々と一緒に 活動や交流ができる 団体・教室	健康づくりや病気の 予防につながるような 手軽なスポーツや 活動ができる団体・ 教室	地域等でのスポーツ 指導活動	その他	無 回 答
全 体	711 100.0	40 5.6	110 15.5	273 38.4	106 14.9	271 38.1	89 12.5	152 21.4	118 16.6	292 41.1	13 1.8	38 5.3	40 5.6
週に5日以上	109 100.0	11 10.1	23 21.1	47 43.1	20 18.3	39 35.8	12 11.0	15 13.8	14 12.8	52 47.7	- -	4 3.7	9 8.3
週に3～4日	166 100.0	7 4.2	31 18.7	71 42.8	25 15.1	58 34.9	19 11.4	44 26.5	33 19.9	78 47.0	4 2.4	6 3.6	11 6.6
週に1～2日	225 100.0	12 5.3	32 14.2	85 37.8	43 19.1	93 41.3	29 12.9	40 17.8	42 18.7	90 40.0	6 2.7	12 5.3	7 3.1
週に1日未満	156 100.0	7 4.5	20 12.8	62 39.7	16 10.3	63 40.4	24 15.4	41 26.3	24 15.4	55 35.3	3 1.9	7 4.5	7 4.5
運動・スポーツ を行わなかった	55 100.0	3 5.5	4 7.3	8 14.5	2 3.6	18 32.7	5 9.1	12 21.8	5 9.1	17 30.9	- -	9 16.4	6 10.9

■参加したいスポーツ活動・イベントについて

今後どのようなスポーツ活動やイベントに参加したいと思いますか。(複数回答可)

「健康づくりや体力の向上のための大会やイベント」が40.5%と最も多く、次いで「家族や友だちと参加できる大会やイベント」が30.9%、「初心者を対象とした大会やイベント」が21.9%となっている一方で、21.9%の回答者は「特になし・参加したくない」と回答しています。



【年齢別】

年齢別にみると、『10～40 歳代』では、「家族や友だちと参加できる大会やイベント」の割合が最も多く、特に「30 歳代」で 62.6%と多くなっています。

上段:回答数 下段:%	合 計	日頃の練習の成果を 発揮できる大会やイベント	地域住民と交流を深める 大会やイベント	いろいろな種目を楽しめる 大会やイベント	健康づくりや体力の向上の ための大会やイベント	家族や友だちと参加できる 大会やイベント	初心者を対象とした 大会やイベント	有名スポーツ選手の講演や スポート教室	その他	特になし・参加したくない	無回答
全 体	729 100.0	61 8.4	117 16.0	101 13.9	294 40.3	227 31.1	159 21.8	80 11.0	8 1.1	161 22.1	24 3.3
10歳代	18 100.0	1 5.6	4 22.2	5 27.8	5 27.8	6 33.3	3 16.7	2 11.1	- -	6 33.3	- -
20歳代	58 100.0	7 12.1	10 17.2	19 32.8	21 36.2	25 43.1	18 31.0	10 17.2	- -	6 10.3	- -
30歳代	91 100.0	11 12.1	26 28.6	17 18.7	39 42.9	57 62.6	24 26.4	10 11.0	2 2.2	7 7.7	1 1.1
40歳代	133 100.0	17 12.8	17 12.8	17 12.8	52 39.1	56 42.1	35 26.3	27 20.3	2 1.5	26 19.5	1 0.8
50歳代	152 100.0	15 9.9	25 16.4	21 13.8	60 39.5	43 28.3	30 19.7	20 13.2	- -	31 20.4	2 1.3
60歳代	104 100.0	7 6.7	12 11.5	15 14.4	47 45.2	20 19.2	17 16.3	8 7.7	1 1.0	31 29.8	1 1.0
70歳以上	173 100.0	3 1.7	23 13.3	7 4.0	70 40.5	20 11.6	32 18.5	3 1.7	3 1.7	54 31.2	19 11.0

【運動実施率別】

運動実施率別にみると、運動・スポーツの頻度に関わらず「健康づくりや体力の向上のための大会やイベント」や「家族や友だちと参加できる大会やイベント」の割合が多くなっている一方で、「運動・スポーツを行わなかった」回答者は、「特になし・参加したくない」が 49.1%と、特に多くなっています。

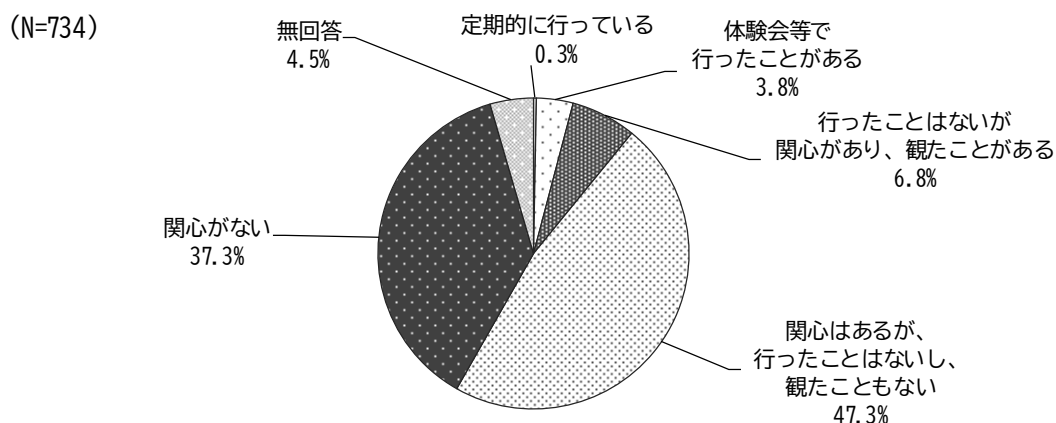
上段:回答数 下段:%	合 計	日頃の練習の成果を 発揮できる大会やイベント	地域住民と交流を深める 大会やイベント	いろいろな種目を楽しめる 大会やイベント	健康づくりや体力の向上の ための大会やイベント	家族や友だちと参加できる 大会やイベント	初心者を対象とした 大会やイベント	有名スポーツ選手の講演や スポート教室	その他	特になし・参加したくない	無回答
全 体	711 100.0	59 8.3	116 16.3	99 13.9	295 41.5	225 31.6	156 21.9	81 11.4	8 1.1	150 21.1	19 2.7
週に5日以上	109 100.0	12 11.0	23 21.1	14 12.8	51 46.8	28 25.7	22 20.2	16 14.7	1 0.9	20 18.3	3 2.8
週に3～4日	166 100.0	17 10.2	21 12.7	24 14.5	82 49.4	55 33.1	34 20.5	19 11.4	1 0.6	32 19.3	5 3.0
週に1～2日	225 100.0	19 8.4	44 19.6	26 11.6	87 38.7	69 30.7	50 22.2	22 9.8	4 1.8	47 20.9	7 3.1
週に1日未満	156 100.0	9 5.8	23 14.7	30 19.2	62 39.7	60 38.5	43 27.6	20 12.8	1 0.6	24 15.4	3 1.9
運動・スポーツを行わなかった	55 100.0	2 3.6	5 9.1	5 9.1	13 23.6	13 23.6	7 12.7	4 7.3	1 1.8	27 49.1	1 1.8

■障がい者スポーツを行った経験について

障がい者スポーツを行った経験または関心がありますか。

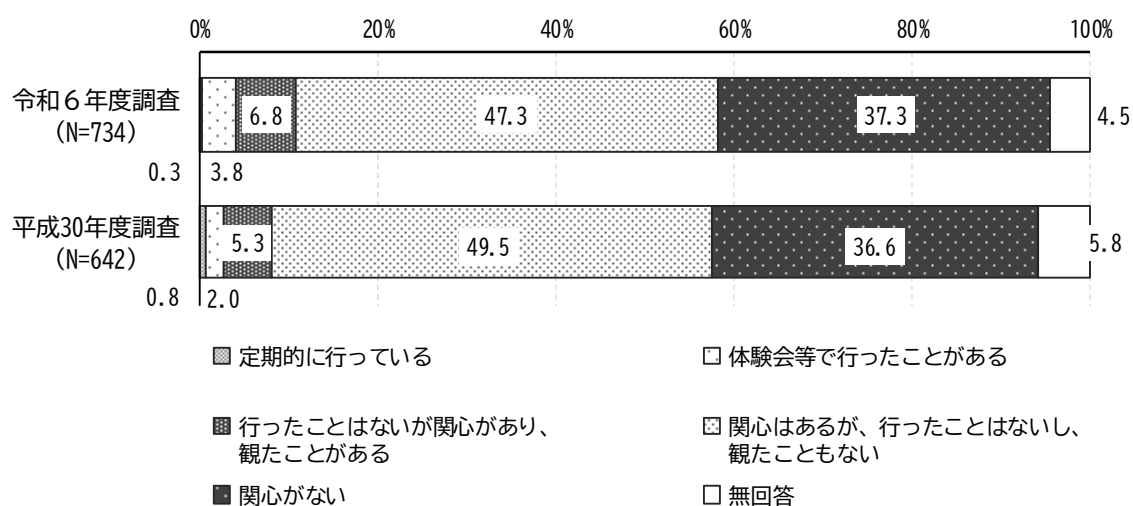
『行ったことがある』回答者の割合（「定期的に行っている」と「体験会等で行ったことがある」の合計）は 4.1%、『関心がある』回答者の割合（「行ったことはないが関心があり、観たことがある」と「関心はあるが、行ったことはないし、観たこともない」の合計）は 54.1%となっています。

一方で、37.3%の回答者は「関心がない」と回答しています。



【経年比較】

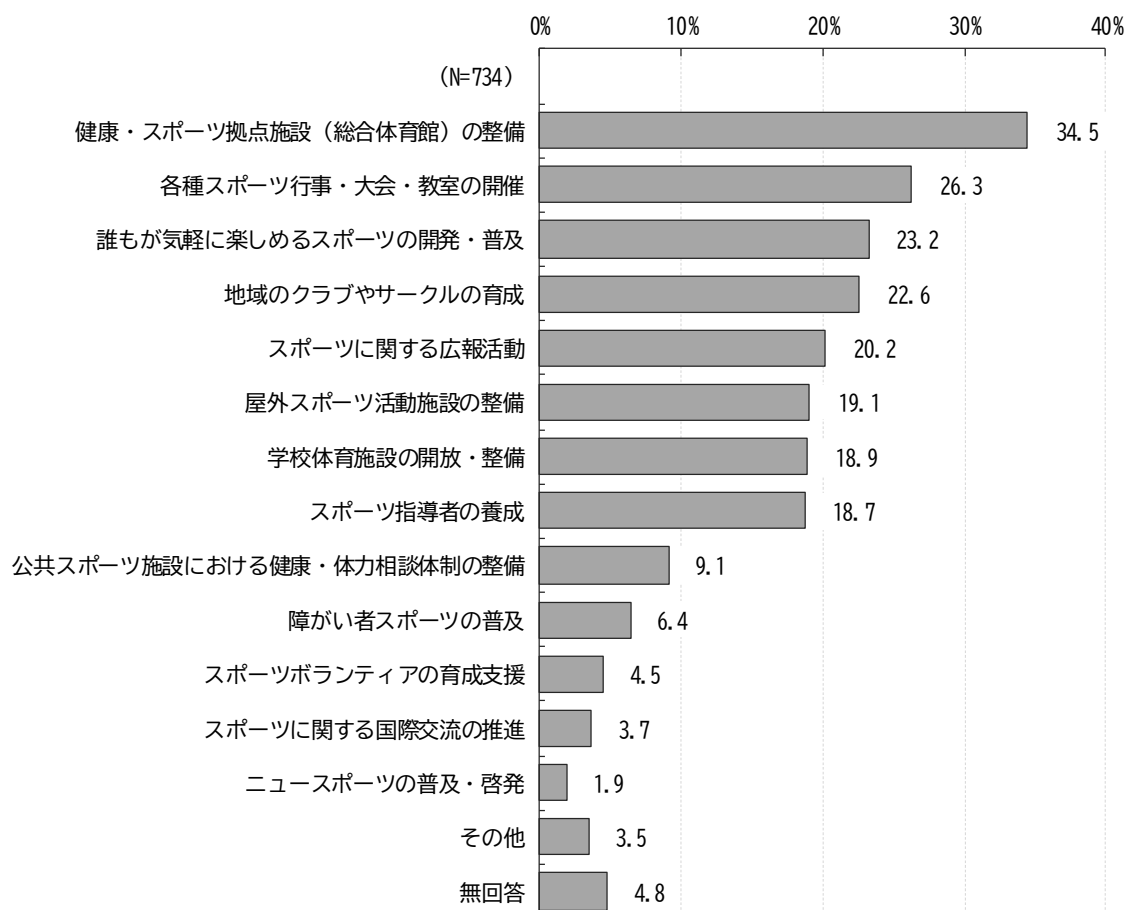
平成 30 年度調査と比較して、『行ったことがある』（「定期的に行っている」と「体験会等で行ったことがある」の合計）回答者の割合は 1.3 ポイント増加しています。



■スポーツ推進について

スポーツをもっと推進させるために、市が今後どのようなことに力を入れたほうがよいと思いますか。(複数回答可)

「健康・スポーツ拠点施設(総合体育館)の整備」が34.5%と最も多く、次いで「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が26.3%、「誰もが気軽に楽しめるスポーツの開発・普及」が23.2%となっています。



(3) ヒアリング調査結果

■関係団体ヒアリング

スポーツ推進のための意見を聞くことを目的として、市内の関係団体に対してヒアリング調査を実施しました。

調査団体

長久手市レクリエーション協会・長久手市スポーツ協会・
長久手市身体障害者福祉協会・食と健康を考える会

【団体が活動する上での課題と対策】

【課題】

- 体育館等、屋内競技に利用できる施設が少ない。
- 会員の減少。
- 高齢の参加者が会場へ向かうための交通手段の確保。
- 参加者や役員の高齢化。

【対策】

- 知人に声をかけるなどして、新規加入者を募集している。
- 活動の内容や場所等の検討をしている。
- 若い会員の役員への登用を図る。

【市内のスポーツ関連施設における課題】

- 杣ヶ池体育館のアリーナ面積が小さく、十分な広さが取れないため、正式な試合が出来ない種目が多い。また、サブアリーナが確保されていない。
- 市民野球場は、ベンチが老朽化のために雨漏りしたり、排水が詰まってしまい流れないなど、整備が不十分。
- 市民テニスコートは、経年劣化により土の状態が悪いうえ、コートラインが飛び出していたり、石が出てきていて、ボールが変な方向に跳ねてしまう。
- スポーツの杜では、長年メンテナンスや日常の維持・管理が行われていないため、表面の荒れが顕著である。また、サッカーゴールも経年劣化が目立つ。
- 各施設共通して駐車場の数が少なく、大会参加者の駐車場の確保が課題となっている。
- バリアフリー化を進める必要がある。車椅子障がい者が杣ヶ池体育館・武道場を利用する場合、移動が困難である。また、障がい者用トイレについては、温便座やウォシュレットなど機能に配慮が必要である。

【行ってみたいもしくは考えているスポーツ活動や健康づくり活動の展望】

- 食生活についての知識の向上など。
- 管理栄養士に依頼して講義・調理実習を行っており、今後も実施予定。
- ニュースポーツの体験や推進。
- 高齢者の健康づくりの推進。

【今後、スポーツ活動や健康づくり活動を推進していく上で、必要だと思うこと】

- 団体としての役割やこれからの在り方を、今一度考える必要があると思われる。
- 過去に実施した健康測定会の参加者からは、食生活や体を動かすことに対する意識の高さを感じたが、そういったことに強い関心がない一般市民への普及も必要だと思う。
- 健康づくりの推進については、特定の会場のみではなく、地域で行える環境の整備や計画があると良い。
- 補助金が減少し、事業を行う際の個人負担が増加しているため、市の補助事業を創設してほしい。

【スポーツや運動を推進させるため、市が今後力を入れた方が良いと思うこと】

- スポーツ施設の維持管理や更新も重要だと思うが、まずは市内に存在する団体の現状を理解・把握するとともに、団体以外のスポーツ活動の把握、子育て世代の子どもたちに対するスポーツニーズ、高齢者が望むスポーツなどの把握に力を入れてほしい。
- ヨガやピラティスなど、初心者でも参加できるような教室が低料金であるといいと思う。
- スポーツ推進計画の中に、障がい者ができるスポーツの紹介・体験会等を盛り込んでほしい。
- 市民を対象とするスポーツ・運動計画を策定し、各団体に働きかけること。現在は市の方向性や団体の育成計画が見えてこない。

【その他の要望】

- スポーツ教室の参加費を市が負担することで、市民が安い料金で参加できるとありがたい。
- 他の自治体と比較して、公民館が不足している。健康づくり等の事業を推進するために各地域で会場（公民館等）を確保できるようにしてほしい。
- 補助金の減少を図っているが、各団体に意図が理解されていない。市のヒアリングでは、団体で収入の在り方を考えるように、との説明があった。各団体をどの様に育成したいのか、市の考えが知りたい。

3 今後の課題

長久手市におけるスポーツを取り巻く環境や市民アンケート調査、関係団体へのヒアリング調査等の結果を踏まえ、基本目標ごとに課題を設定しました。

【基本目標 1 スポーツを健康長寿の原動力にする】

課題 1 健康・体力づくりのためのスポーツの普及・啓発

市民アンケート調査では、スポーツに取り組んだことで実感した効果として、「体力が向上した」や「動きやすくなった」、「ストレスが少なくなった」などの回答が多く、スポーツが心身の健康の維持・向上に良い影響を与えていることがうかがえます。また、日常生活の充実感についても、スポーツに取り組んでいる人の方が高いという結果になっています。

スポーツが健康や生活に与える効果について、より多くの人に認識・実感してもらい、スポーツに取り組む動機につなげられるように、普及・啓発をしていく必要があります。

課題 2 子どもや若者におけるスポーツ実施率の向上

生涯にわたりスポーツに親しみ、健康づくりを継続する習慣をつくるためには、子どもの頃からスポーツを身近に感じ、楽しむ経験が重要と考えられます。

市民アンケート調査では、子どものスポーツ環境に対して力をいれるべきこととして、「公園や運動施設の整備と拡充」や「学校や園での運動環境の充実」、「運動やスポーツの楽しさに触れるイベントの拡充」などが多く選ばれており、身近な環境の中でスポーツに親しむ環境の充実が求められています。

また、全体ではスポーツ実施率が向上しているものの、若い世代においては低い傾向があり、生涯を通じた運動への意識向上や習慣化を進める必要があります。

【基本目標 2 スポーツを地域活性化の推進力にする】

課題 3 スポーツイベントや大会の充実

スポーツを通じた地域活動の活性化には、地域の人々が広く参加し、ともに楽しめる場が不可欠です。

市民アンケート調査の自由記述では、幅広い年齢や属性の人たちが参加できる大会・イベントを求める意見も見られました。地域スポーツ資源も活用しながら、多くの人々が参加し交流できる活動の充実が必要です。

課題 4 スポーツ施設の整備・運用の改善

市民アンケート調査において、市のスポーツ施設に満足している人の割合は15.9%であり、平成30年度調査時よりも5.3ポイント増加しています。

一方で、不満がある人の割合は18.4%と、満足している人を上回っています。

不満な点については、「施設の設備が不十分」が多く、自由記述や団体ヒアリングにおいても、設備の不足や、老朽化による不便さについての意見が多くありました。

その他にも、予約システムの不便さ、交通手段の確保の難しさについても挙げられており、市の施設そのものだけでなく、それらを取り巻く環境に関しても見直すことが求められています。

【基本目標 3 スポーツを支え育てる】

課題 5 スポーツ指導者の育成・増加

市民アンケート調査において、7割近くの回答者がスポーツを行う上で『指導者が必要』（「必要」または「常時必要ではないが、いた方がよい」）と回答しており、必要な指導者として、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」や「健康・体力づくりのためのスポーツの指導ができる人」が特に多い結果となっています。

スポーツの推進にあたり、市民に必要とされる指導者の育成と確保が求められています。

課題 6 スポーツボランティアの普及

スポーツイベント等の人員確保の手段として、スポーツボランティアは重要な存在である一方で、市民アンケート調査では、スポーツに関わるボランティア活動をしたことがある回答者の割合は20.0%以下と少なくなっています。

スポーツボランティアの活動や募集について、積極的に市民に広め、地域のスポーツ活動をともに支えていく人材を増やすことが必要です。

【基本目標 4 スポーツを楽しむ・親しむ・触れる】

課題 7 スポーツによる共生社会の実現

市民アンケート調査の自由記述では、障がいを持った人でも自由に楽しめるスポーツの普及、友人や家族と一緒に参加できるイベントの充実、子どもや高齢者などそれぞれのライフステージにあったスポーツに取り組める環境の整備などを求める意見が複数挙げられていました。

また、障がいの有無や性別の違い等に関わらず、様々な立場や状況の人々がともにスポーツを楽しめる環境の構築は、国の「第3期スポーツ基本計画」においても重視されています。

あらゆる市民が自由にスポーツに取り組めるように、多様な施策や支援が必要とされています。

課題 8 スポーツに関する取組や活動の認知度の向上

市民アンケート調査において、地域のスポーツ活動を支援する「スポーツ推進委員」の認知度は、22.0%と低くなっています。また自由記述においても、スポーツに関する情報や地域の活動、イベントについての情報がなかなか手に入らないという意見が複数見られました。

市民がスポーツに取り組もうとした際、必要な情報へすぐにアクセスできるように、また、地域のスポーツイベントの情報が、関心を持っていない人の目にもとまるように、情報提供についての工夫が必要とされています。

第 3 章

計画の基本的な考え方

1 基本理念

スポーツには、勝敗や記録を競う競技スポーツだけではなく、ウォーキングや体操、介護予防トレーニングなど健康づくりのために行うスポーツなどもあります。このように人々は多様な目的を持つスポーツに様々な関わり方をしています。

市民がスポーツに関わるようになるには、市民一人ひとりがスポーツに興味・関心を持てるように働きかけ、参加しやすい環境をつくっていくことが必要です。さらに、スポーツに触れる機会を広げ、参加することで生まれたつながりを広げていくことも重要です。

「スポーツで つなぐつながる 長久手 ～長く元気に育てあう～」を基本理念に掲げ、多様な可能性を持つスポーツに関わる市民を増やし、つながりを深め、また、スポーツを通じて健康寿命を延ばし、生涯にわたり健康な生活を送れる市民が増えるよう環境を整えていきます。

基 本 理 念

スポーツで つなぐつながる 長久手
～長く元気に育てあう～

2 基本目標

基本理念である「スポーツで つなぐつながる 長久手 ～長く元気に育てあう～」を目指し、次の4つの基本目標に基づき、計画を推進していきます。

1 スポーツを健康長寿の原動力にする

2 スポーツを地域活性化の推進力にする

3 スポーツを支え育てる

4 スポーツを楽しむ・親しむ・触れる

3 施策体系

第2章において整理した本市の課題や現状を踏まえ、8個の基本施策を設定し、取り組むべき内容の整理を行うこととします。

基本理念

スポーツで つなぐつながる 長久手

課題

基本目標

課題1

健康・体力づくりのためのスポーツの普及・啓発

課題2

子どもや若者におけるスポーツ実施率の向上

課題3

スポーツイベントや大会の充実

課題4

スポーツ施設の整備・運用の改善

課題5

スポーツ指導者の育成・増加

課題6

スポーツボランティアの普及

課題7

スポーツによる共生社会の実現

課題8

スポーツに関する取組や活動の認知度の向上

基本目標1

スポーツを健康長寿の原動力にする

基本目標2

スポーツを地域活性化の推進力にする

基本目標3

スポーツを支え育てる

基本目標4

スポーツを楽しむ・親しむ・触れる

～ 長く元気に育てあう ～

基本施策

基本施策1

市民主体の健康・体力づくりのための支援

基本施策2

スポーツが持つ力の地域への活用

基本施策3

地域スポーツ資源の活用

基本施策4

スポーツ環境の整備

基本施策5

スポーツ活動を支える人材の育成・発掘

基本施策6

スポーツ関連団体との連携・活動支援

基本施策7

ライフステージ等に応じたスポーツ機会の充実

基本施策8

スポーツに関する情報収集・提供の充実

基本目標 1

スポーツを健康長寿の原動力にする

子どもの頃から健康的な生活が習慣となることで、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康づくりを継続できる環境をつくれます。

スポーツや健康に関心が低い人にも、健康に長生きすることの素晴らしさを啓発し、健康づくりへの参加を促します。

基本施策1 市民主体の健康・体力づくりのための支援

基本目標 2

スポーツを地域活性化の推進力にする

スポーツ活動を「地域の絆、つながり」づくりのきっかけとして位置づけ、地域づくりに関心が低い人も参加しやすいスポーツを通して、市民一人ひとりの健康を守るまちづくりを推進していきます。

基本施策2 スポーツが持つ力の地域への活用

基本施策3 地域スポーツ資源の活用

基本施策4 スポーツ環境の整備

基本目標 3

スポーツを支え育てる

市内には、かつて各種大会等で活躍したスポーツ選手や医療・介護・福祉の現場で健康づくりに携わり、実績を上げてきた方がいます。こうした地域の素晴らしい人材を地域スポーツや健康づくりの指導者として登用するなど、地域の力を活用することで、長久手市のスポーツ健康づくりを支え、育てていきます。

基本施策5 スポーツ活動を支える人材の育成・発掘

基本施策6 スポーツ関連団体との連携・活動支援

基本目標 4

スポーツを楽しむ・親しむ・触れる

市民の日常的なスポーツ活動において、参加の機会を充実させることで、スポーツ・健康づくりを楽しむ・親しむ・触れることへの動機づけを図ります。

また、スポーツを身近に体験でき、子どもから大人まで、誰もが楽しく始められる、ニュースポーツを普及していきます。

基本施策7 ライフステージ等に応じたスポーツ機会の充実

基本施策8 スポーツに関する情報収集・提供の充実

4 成果指標

今回の中間見直しでは、市民アンケート調査及び関係団体へのヒアリング調査の結果を踏まえて、以下の通り成果指標における目標値を修正しました。

■計画策定時（令和2（2020）年度）

成果指標	現状値	目標値
週に1日以上スポーツをしている人の割合	46.5%	65%

■中間見直し時（令和6（2024）年度）

成果指標	現状値	目標値
週に1日以上スポーツをしている人の割合	<u>70.3%</u>	<u>75%</u>

週に1日以上スポーツをしている人の割合とは、市民アンケート調査において、「あなたは、普段どれくらいスポーツをしていますか。」という質問に対して「ほぼ毎日」「週に3回以上」「週に1、2回」と回答した人の割合です。

当初の目標値は、当時の国及び愛知県が目指していた目標値 65%を参考としていましたが、中間見直しにあたり実施した調査において、週に1日以上スポーツをしている人の割合が 70.3%と目標値を上回ったことや、国及び愛知県が目指す目標値が 70%に変更されたことを考慮し、本計画の目標値も上記の通りより高い値に見直しました。

前回調査時と比較して、週に1日以上スポーツをしている人の割合が約 25 ポイント増加した一方で、30～50 歳代の働く世代、子育て世代におけるスポーツ実施率は、低い傾向が続いています。

こういった現状を踏まえて、引き続き働く世代、子育て世代がスポーツへ参加しやすい環境や体制の整備を推進し、スポーツ実施率の維持・向上を図ります。

第 4 章

施策の展開

1 施策の推進にあたって

各施策の取組概要を基にアクションプランを作成し、計画の推進を図ります。

計画の推進にあたっては、担当課だけではなく、必要に応じて様々な課と横断的に連携し、実施していきます。

基本目標1 スポーツを健康長寿の原動力にする

基本施策1：市民主体の健康・体力づくりのための支援

長久手市第6次総合計画である「ながくて未来図」の基本目標4の政策3において、「いくつになっても元気でいきいきと輝ける暮らしの推進」と示されています。これを実現するためのきっかけの1つとして、スポーツが健康長寿への原動力となることを目指します。

子どもの頃からスポーツに触れ、親しみ、健康的な生活を送ることで、生涯にわたりスポーツを楽しみ、健康づくりを継続するための支援をしていきます。

<主な取組>

No	取組名	取組概要	担当課
1	市民の健康づくり	市民一人ひとりが健康づくりに取り組むことを支援し、疾病の発生予防や早期発見、重症化予防、こころの健康づくりを推進するとともに、まち全体で誰もが自然に健康になれる環境づくり、生涯を通じた健康づくりに取り組みます。	健康推進課
2	市民参加スポーツイベントの充実	気軽にスポーツを楽しみ、継続してスポーツを行えるよう、ジョギングフェスティバルやニュースポーツイベントを実施します。 また、市民の健康・体力づくりのためのスポーツ・運動を促進します。	生涯学習課 健康推進課
		自身の健康状態を知り、今後の健康管理に役立てることを目的に測定会等を実施します。 また、ラジオ体操事業、健康マイレージ事業等、食事や運動等の健康づくりに取り組む市民をサポートします。	健康推進課
3	市民が自分のことを知る機会の提供	それぞれが自分にあった形でスポーツを行うため、自身の身体の状態や加齢に伴う筋力や体力の低下を把握できるよう、体力測定などを行います。	保険医療課

基本目標2 スポーツを地域活性化の推進力にする

基本施策2:スポーツが持つ力の地域への活用

スポーツを通じた世代間の交流や地域交流の機会となる地域のスポーツ活動が、市民や地域のつながりとして大きな役割を果たすと考えられます。年齢や性別、障がいの有無に関係なく、市民一人ひとりがスポーツを通してつながり、互いを理解しながら地域をともに創っていくことを目指します。

そのため、地域のスポーツに関する様々な団体・組織と連携し、スポーツ活動の推進を通して「地域の絆、つながり」づくりに努めます。

<主な取組>

No	取組名	取組概要	担当課
1	スポーツ推進委員による地域スポーツの推進	スポーツ推進委員が地域において円滑に活動できるよう、地域活動の支援に努めます。	生涯学習課
2	校区体育委員による学校夜間開放事業の拡充	地域スポーツを推進するため、各小学校区において、土曜日夜間の小学校を開放し、地域住民のスポーツ活動の場とします。	生涯学習課

＊スポーツ推進委員：月1回の定例スポーツ推進委員会をはじめ、ウォーキングイベント、ニュースポーツフェスティバル、新春ふれあいジョギングフェスティバルなど様々な取組で市スポーツ行政の中心的役割を担っています。

＊校区体育委員：土曜日夜間の小学校体育館夜間開放事業をはじめ、小学校区ごとの校区運動会など、地域に密着した活動に取り組んでいます。

ニュースポーツ

ニュースポーツとは、技術やルールが比較的簡単で、誰でも、どこでも、いつでも容易に楽しめることを目的に新しく考案されたスポーツで数百種以上あるといわれています。

子どもから高齢者まで全ての人を対象に「誰でも楽しめるスポーツ」として普及してきました。近年、「生涯スポーツ」への関心が高まる中、幅広い年齢層のスポーツライフを豊かにする担い手としてますます注目されています。

基本施策3：地域スポーツ資源の活用

市民・学生や大学・企業等が相互に連携を行うことで、スポーツ活動の推進だけではなく、地域のつながりにも重要な役割を果たします。

市内にある4大学との連携を図り、大学のスポーツ施設等を有効活用することで、市民のスポーツ活動の活性化へとつなげます。また、学生の持つ若い力を人材として活かすことができるよう取り組んでいきます。

また、公園等の既存の施設をうまく活用し、スポーツを気軽に楽しむことができるように取り組んでいきます。

<主な取組>

No	取組名	取組概要	担当課
1	大学との連携	大学にあるスポーツ施設について、地域のスポーツ資源として利用連携を検討します。	生涯学習課
2	小中学校開放事業の拡充	小中学校における学校開放事業の日にち、時間の拡充を検討します。	生涯学習課 教育総務課
3	市内企業との連携	市内企業について、各種イベントへの協賛等を積極的に呼びかけます。また企業のスポーツ施設を地域のスポーツ資源として、利用連携を検討します。	生涯学習課
4	公園の活用	身近な環境でウォーキングや体操など、気軽にスポーツや運動を楽しむことができるよう、公園の活用に向けた取組を推進します。	みどりの推進課 生涯学習課

市内にある4大学

長久手市には、愛知県立芸術大学、愛知医科大学、愛知淑徳大学、愛知県立大学の4つの大学があります。平成22年から平成24年の間にそれぞれの大学と包括連携協定を締結し、様々な取組を行っています。

また、平成29年には、市内4大学と共同で大学と地域の連携の指針となる「長久手市大学連携推進ビジョン4U」を策定し、市と大学と地域の連携を進めています。

基本施策4:スポーツ環境の整備

多くの市民が、いつでも、どこでも、誰とでもスポーツを気軽に楽しむことができるスポーツ施設を求めています。しかし、現状では市のスポーツ施設の不足や設備に関する課題があります。

スポーツ施設の整備・充実を図るとともに、学校体育施設などの既存施設を有効活用し、スポーツを楽しむことができる環境の整備に取り組みます。

<主な取組>

No	取組名	取組概要	担当課
1	市役所周辺都市基盤施設整備事業	スポーツによる交流を促進するため、市役所周辺において、市民の健康寿命の延伸や生活習慣の改善等の健康づくりの機能を備えた健康スポーツ拠点の整備を行い、民間事業者の活力導入による運営を目指します。	企画政策課
2	杣ヶ池体育館の施設長寿命化	市民に広く親しまれている杣ヶ池体育館を適正に管理するため、長寿命化工事を実施します。	生涯学習課
3	小中学校施設の開放推進	市民が日常的にスポーツ活動に親しむことができるように、学校教育に支障のない範囲で学校の体育施設を開放します。	生涯学習課 教育総務課
4	スポーツ施設の利用促進	市内のスポーツ施設の利用促進のため、多様なスポーツや健康づくりのニーズをとらえた情報の提供や周知を図ります。	生涯学習課
5	スポーツの杜の拡充	スポーツの杜の公有地化を図り、屋外スポーツ施設の拠点として、拡充を目指します。	生涯学習課

基本目標3 スポーツを支え育てる

基本施策5:スポーツ活動を支える人材の育成・発掘

市民のスポーツ活動を推進するためには、それを支えるためのスポーツ指導者やボランティアを行う人が必要です。

質の高いスポーツ指導者の育成や発掘を行うとともに、地域の人材を地域スポーツや健康づくりの指導者として登用し、地域の力を活用します。

<主な取組>

No	取組名	取組概要	担当課
1	地域スポーツリーダーの育成	スポーツ推進委員をはじめとするスポーツ関係者に対して、定期的に研修会等への参加を促し、人材の育成を図ります。	生涯学習課
2	スポーツ指導者のネットワーク化	市内で活躍するスポーツ指導者とのネットワークを構築し、知識の共有・交換に努めます。	生涯学習課
3	障がい者スポーツ指導者の人材確保	障がい者スポーツ指導者の情報を収集し、人材の確保に努めます。	生涯学習課 福祉課

＊地域スポーツリーダー：地域スポーツリーダーは、救急処置やコーチングに関する基礎的な知識を身に付け、地域においてスポーツグループやサークルなどのリーダー的存在として指導や運営を行います。

基本施策6：スポーツ関連団体との連携・活動支援

市民のスポーツ活動への取組を活発にするには、活動を行っている団体の特徴や強みを活かし、連携を深めるとともに、団体が今後も活動を継続できるようにするための支援等が必要です。

地域で活動を行っている団体と連携・協力を図りながら、スポーツ活動への参加機会の充実に努めます。また、地域で活動する団体が継続的な活動を行うことができるよう支援をしていきます。

<主な取組>

No	取組名	取組概要	担当課
1	スポーツ協会、スポーツ少年団との連携・活動推進	スポーツ協会・スポーツ少年団と連携し、各団体の自主的な活動に必要な支援を行います。 また、各種イベントについて協力を依頼します。	生涯学習課
2	スポーツ推進委員との連携・活動推進	スポーツ推進委員と連携し、ニュースポーツフェスティバルなどのスポーツイベントを実施します。 また、各種イベントについて協力を依頼します。	生涯学習課
3	レクリエーション協会との連携・活動推進	レクリエーション協会と連携し、あそびの城やレクリエーションフェスティバルなどの活動の支援を行います。 また、各種イベントについて協力を仰ぎます。	生涯学習課
4	関連団体同士の連携	スポーツを行っている団体が連携し、情報共有を行うよう推進します。また、相互の活動を支援できる体制の構築を検討します。	生涯学習課 福祉課 長寿課 保険医療課 健康推進課
		健康・体力づくりの取組のきっかけづくりと継続を目的に、関係団体の連携を推進し、ライフステージ等に応じたスポーツ活動への参加機会の充実、環境整備について検討します。	健康推進課

＊スポーツ協会：長久手市スポーツ協会は、1966年10月に設立され、市内において健全なスポーツの普及、振興と住民の健康な心身を培うための推進母体として長年活動しています。市民が主体となって長久手市でのアマチュアスポーツ団体を総括し、スポーツの普及を図り、健康で心豊かな暮らしに寄与するため、市の外郭団体として活動しています。

＊レクリエーション協会：長久手市レクリエーション協会は、長久手市民の余暇生活を充実させるため、レクリエーションの総合的な普及、振興及び会員相互の親睦と市民の交流を通して、健康で明るい街づくりに寄与することを目的として活動しています。

あそびの城

少子化という社会的課題の中、子どもの世界では友達との付き合いが上手くできなかったり、遊び方がわからなかったりという未熟な部分が目立ってきています。あそびの城というあそびを土台とした場所で子ども同士の交流や、地域の大人との交流を通して安心して過ごせる居場所づくりを目指しています。

基本目標4 スポーツを楽しむ・親しむ・触れる

基本施策7:ライフステージ等に応じたスポーツ機会の充実

子ども、若者、働く世代、子育て世代、高齢者、障がいのある人など、ライフステージやライフスタイルにより、スポーツを行う際に求めるものは異なります。

あらゆるニーズに対応したスポーツへの参加機会の充実を図るとともに、多くの市民がスポーツを楽しむ・親しむ・触れることができるよう取り組みます。

<主な取組>

●子どもに対する取組

No	取組名	取組概要	担当課
1	運動に親しむことができる環境づくり	小中学校において、個々の体力や技能に応じた目標を設定し、それを実践するなど誰もが意欲的に運動に取り組めるように授業の改善や課外活動の活用等を行います。	教育総務課
2	子どもの体力向上	幼児から中学生までを対象に、体を動かす習慣を身につけるため、様々な子ども向けスポーツ教室を開催し体力向上を図ります。	生涯学習課
3	スポーツ少年団の推奨	スポーツを通じて心身ともに健全な成長ができるようスポーツ少年団での活動を推奨します。	生涯学習課
4	ニュースポーツの活用	比較的ルールが簡単でみんなが楽しめるニュースポーツを幼児期から体験してもらい、スポーツを身近に感じてもらうきっかけとして活用するため、積極的に実施していきます。	生涯学習課
5	障がい者スポーツの推進	障がいのある人でも気軽にスポーツを楽しむことができるよう、障がい者スポーツ関連団体と連携し、スポーツ活動への参加促進に向けた取組を推進します。	生涯学習課 福祉課

＊スポーツ少年団：子どもたちはスポーツを楽しみ、野外・文化・社会活動などを通じて協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのことを学びます。スポーツ少年団は、これらを行うことによりスポーツによる青少年の健全育成を目的としています。

●働く世代・子育て世代等に対する取組

No	取組名	取組概要	担当課
1	働く世代へのスポーツの推進	働く世代がスポーツを行うきっかけとして、休日や夜間のスポーツ教室の実施を検討します。	生涯学習課
2	子育て世代へのスポーツの推進	小さな子どもを持つ子育て世代を対象に、親子で一緒に楽しめるスポーツ教室の実施を推進します。	生涯学習課
3	障がい者スポーツの推進	障がいのある人でも気軽にスポーツを楽しむことができるよう、障がい者スポーツ関連団体と連携し、スポーツ活動への参加促進に向けた取組を推進します。	生涯学習課 福祉課

基本施策8:スポーツに関する情報収集・提供の充実

市民がスポーツに関心を持ち、主体的にスポーツ活動へ参加するためには、市が必要な情報収集を行い、それぞれのニーズに合わせた情報の提供を進めることが必要です。

市民が、スポーツイベントや教室、大会、施設の利用方法などスポーツに関する様々な情報を入手できるよう、多様な情報媒体を利用した情報発信に取り組みます。

<主な取組>

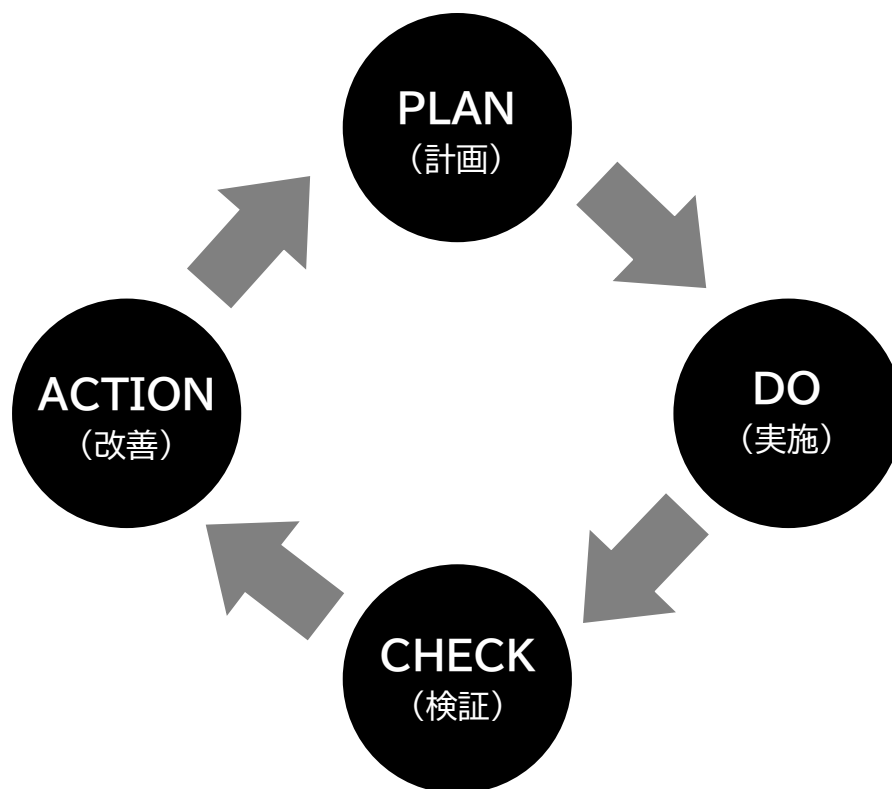
No	取組名	取組概要	担当課
1	スポーツに関する情報収集の充実	市民がスポーツや健康づくりを楽しみ、継続していくことができるよう、スポーツ関連団体の把握などスポーツに関する情報の収集に努めます。	生涯学習課
2	スポーツに関する情報提供手段の充実	チラシ、ホームページ等による情報提供に加え、メールやアプリ、SNSなどによる情報提供手段を検討します。	生涯学習課 福祉課 長寿課 保険医療課 健康推進課
		スポーツ活動に関心の高い方だけでなく、より多くの方が健康・体力づくりに取り組むことを目的に、さらに情報提供の充実に努めます。	健康推進課
3	情報提供内容の充実	スポーツイベント等の告知に加え、イベントやスポーツ教室の当日実施の有無等、情報提供する内容の充実について検討します。	生涯学習課

第 5 章

計画の推進にあたって

1 計画の推進

基本理念である「スポーツで つなぐつながる 長久手 ～長く元気に育てあう～」の実現に向け、PLAN（計画）、DO（実施）、CHECK（検証）、ACTION（改善）のPDCAサイクルに基づき、本計画を推進していきます。



2 計画の評価・見直し

本計画の中間年度となる令和6（2024）年度に、市民アンケート調査及び関係団体へのヒアリング調査を実施し、設定した成果指標における目標値の達成状況を把握しました。

上記の調査結果と、スポーツを取り巻く環境の変化を踏まえて、本市の課題とそれに対応する施策体系や取組の見直しを行いました。

資料編

アンケート調査結果

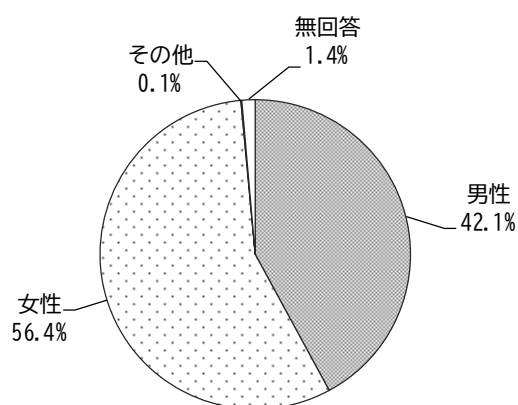
I. 調査結果（市民）

1. あなたご自身について

（1）性別

問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

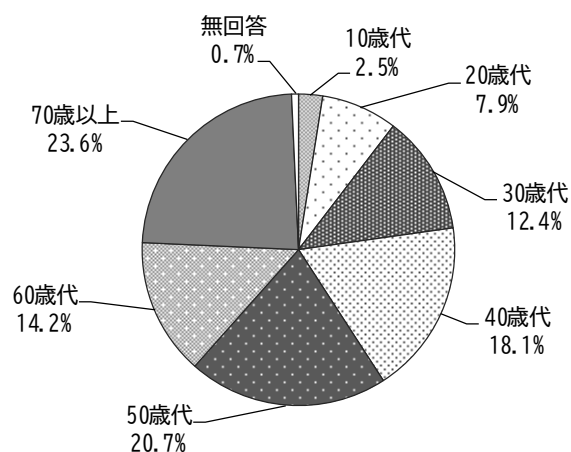
（N=734）



（2）年齢

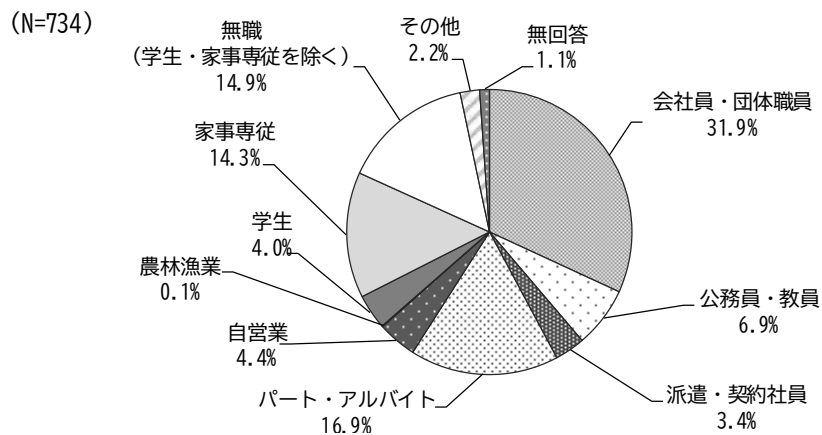
問2 あなたの年齢をお答えください。（○は1つ） ※令和6年12月1日時点

（N=734）



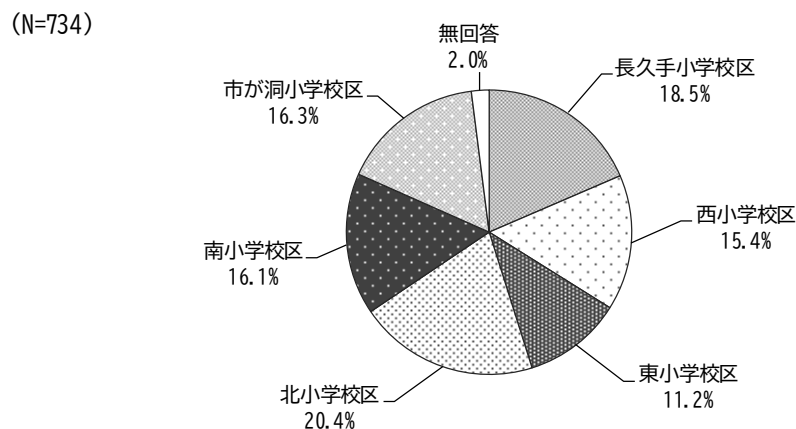
(3) 職業

問3 あなたの職業をお答えください。(〇は1つ)



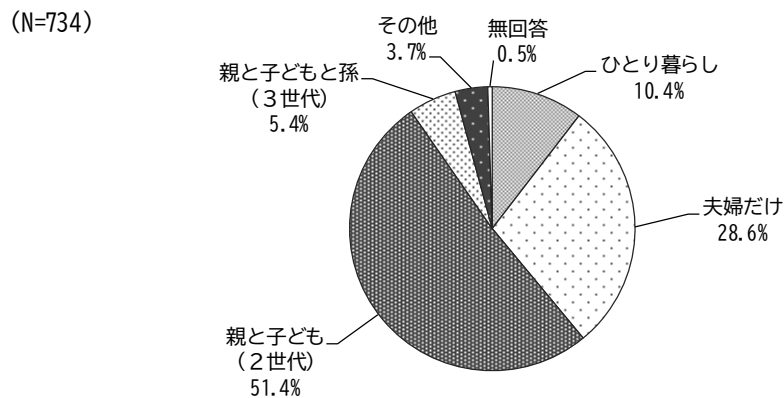
(4) 居住地域

問4 あなたがお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)



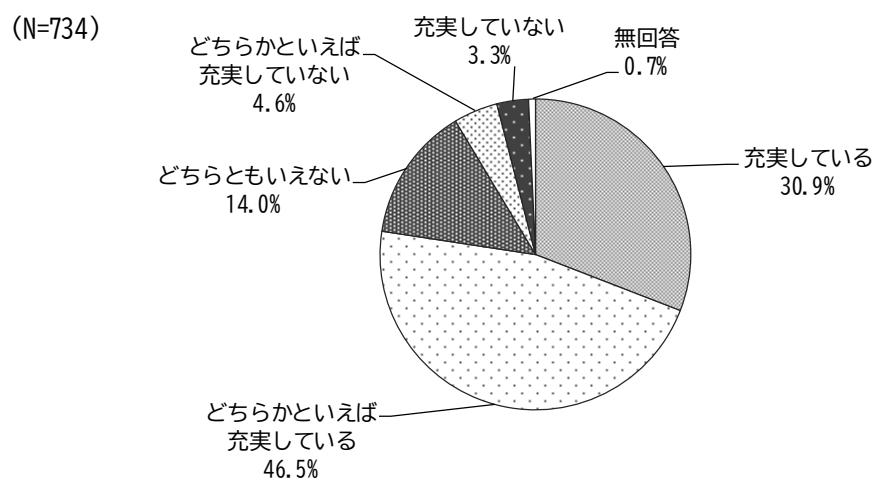
(5) 家族構成

問5 あなたの家族構成をお答えください。(〇は1つ)



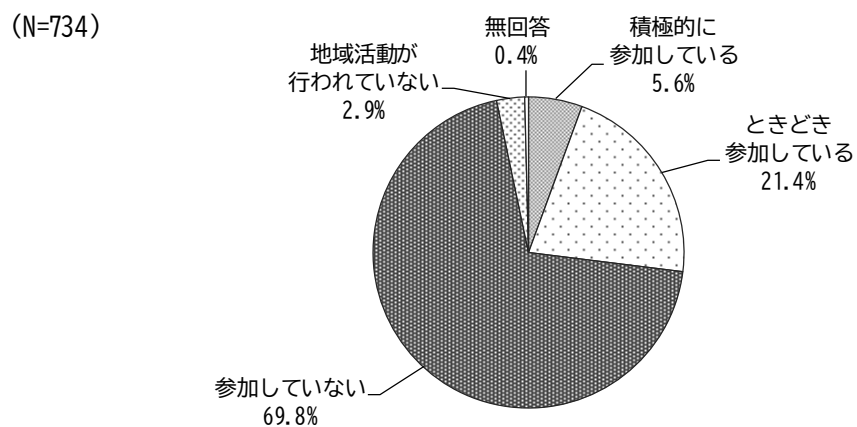
(6) 日常生活の充実感

問6 あなたは、日常生活（仕事、学業、経済面を除く）が充実していると感じますか。（○は1つ）



(7) 地域活動への参加有無

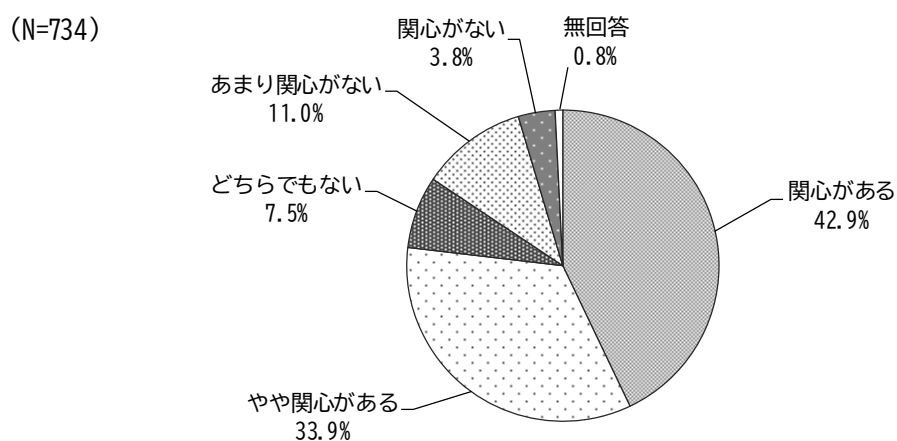
問7 あなたは現在、地域活動に参加していますか。（○は1つ）



2. スポーツ・健康づくりに対する意識について

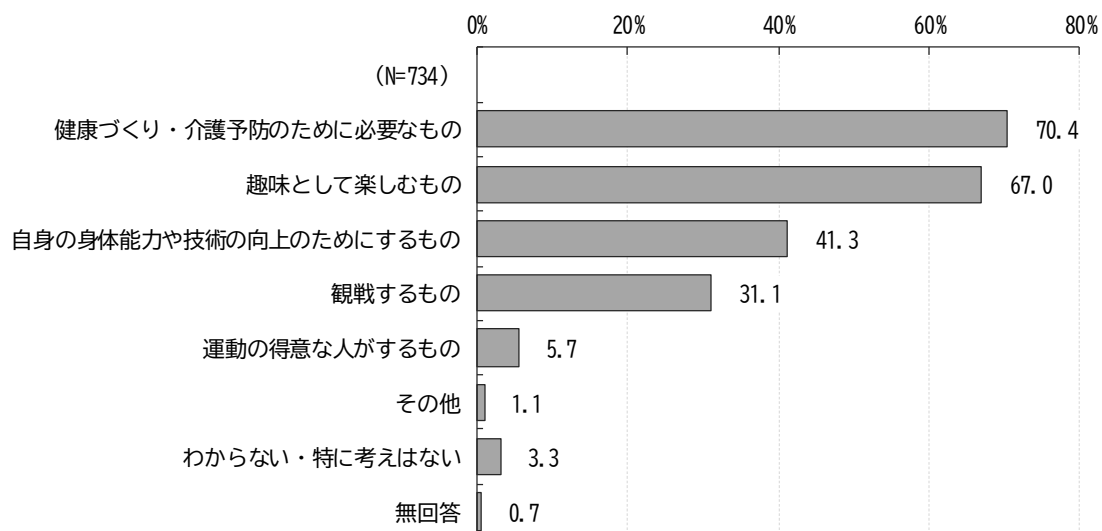
(1) スポーツに対する関心

問8 あなたは、スポーツに関心がありますか。(○は1つ)



(2) スポーツに対する考え

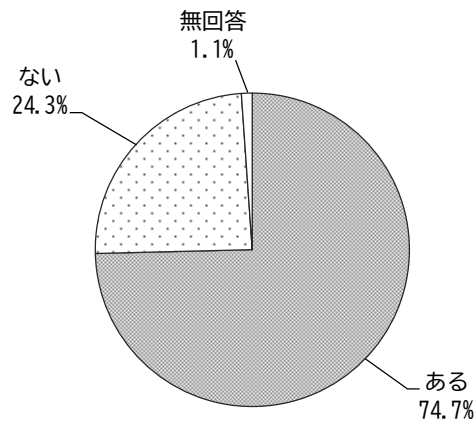
問9 あなたは、スポーツについてどのような考えを持っていますか。(○はいくつでも)



(3) 健康や体力維持増進のために心がけていることの有無

問 10 健康や体力維持増進のために、何か心がけていることはありますか。(○は1つ)

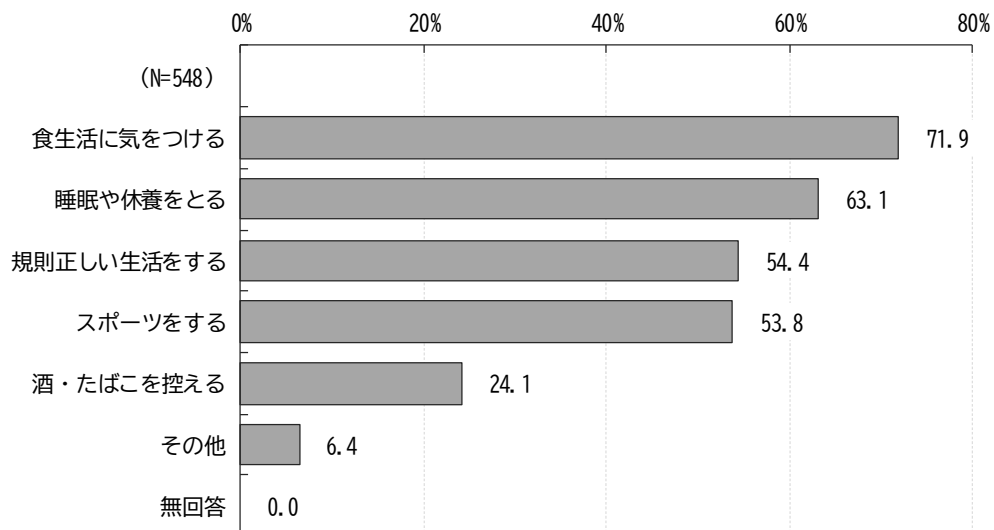
(N=734)



(4) 健康や体力維持増進のために心がけていること

問 10-1 は、問 10 で「ある」を選択した人が回答。

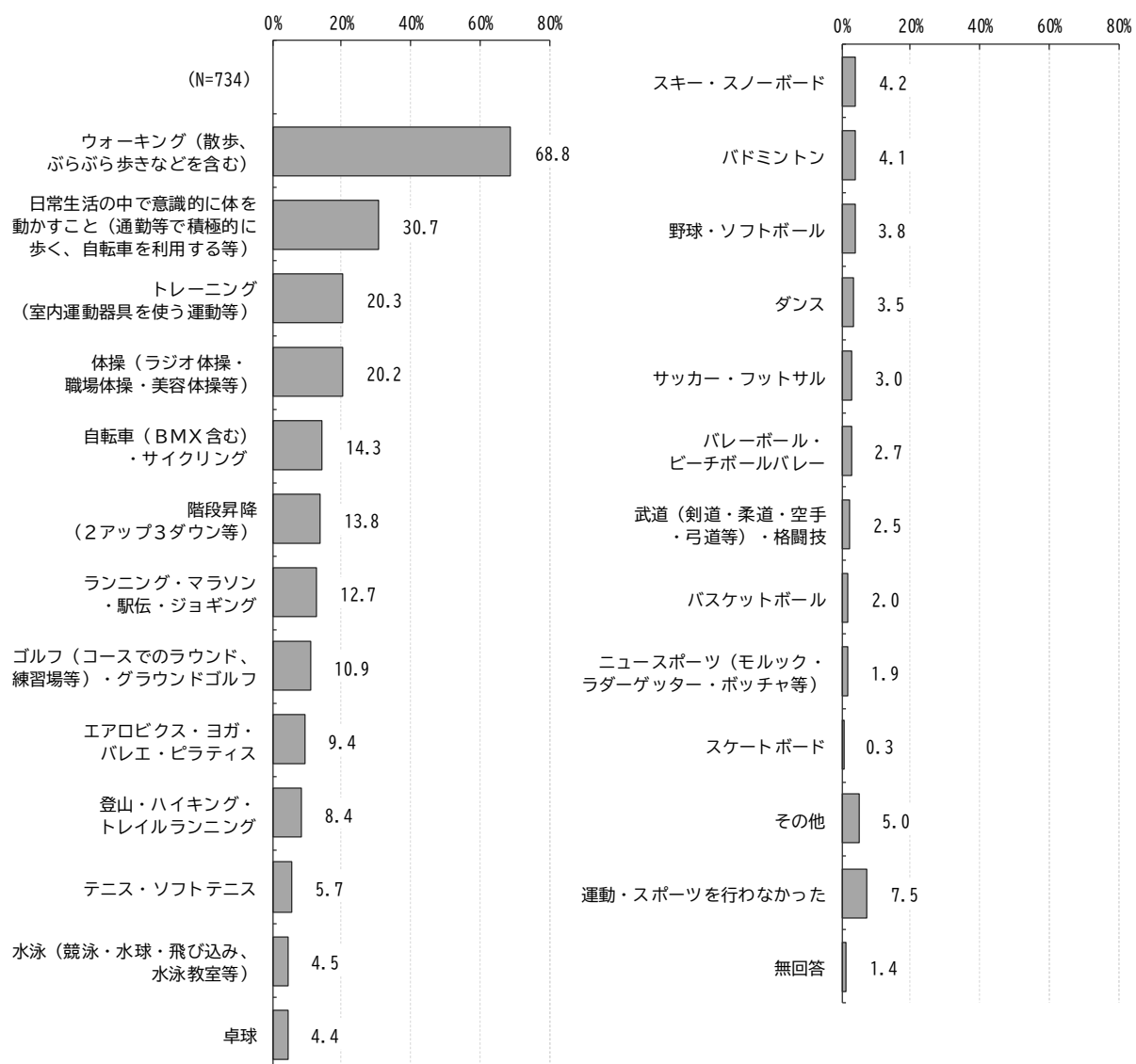
問 10-1 心がけていることは何ですか。(○はいくつでも)



3. スポーツの実施状況について

(1) 実施したスポーツ

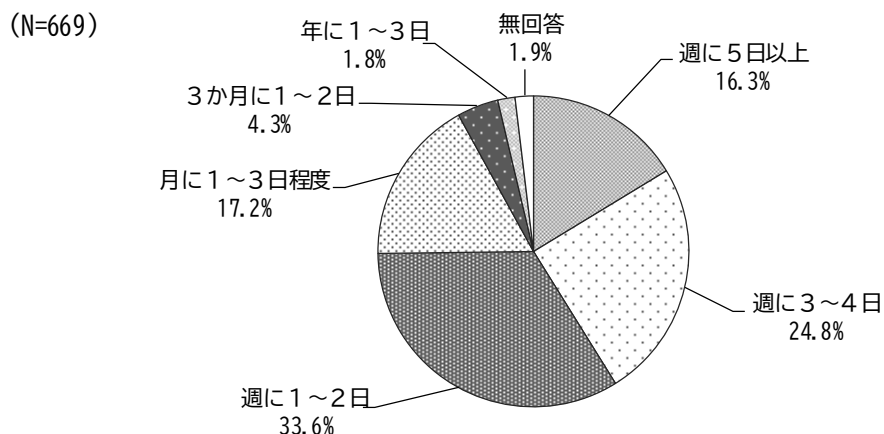
問11 あなたがこの1年間に行ったスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)



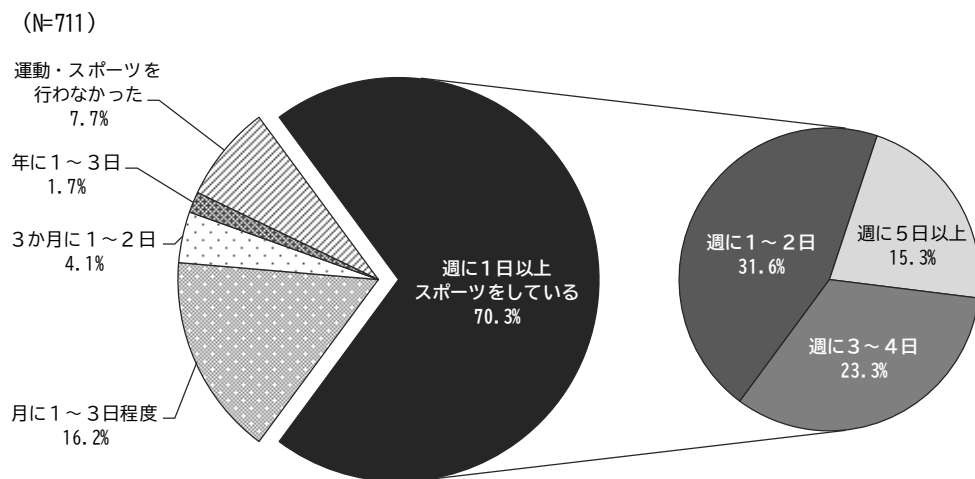
(2) スポーツを行った頻度

問11-1から問11-5は、問11で「ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩きなどを含む）」から「その他」のいずれかを選択した人が回答。

問11-1 問11で○をつけたスポーツを行った日数を合わせると、どのくらいの頻度になりますか。（○は1つ）



【運動実施率】



【参考】
平成30年度調査時の
運動実施率

46.5%

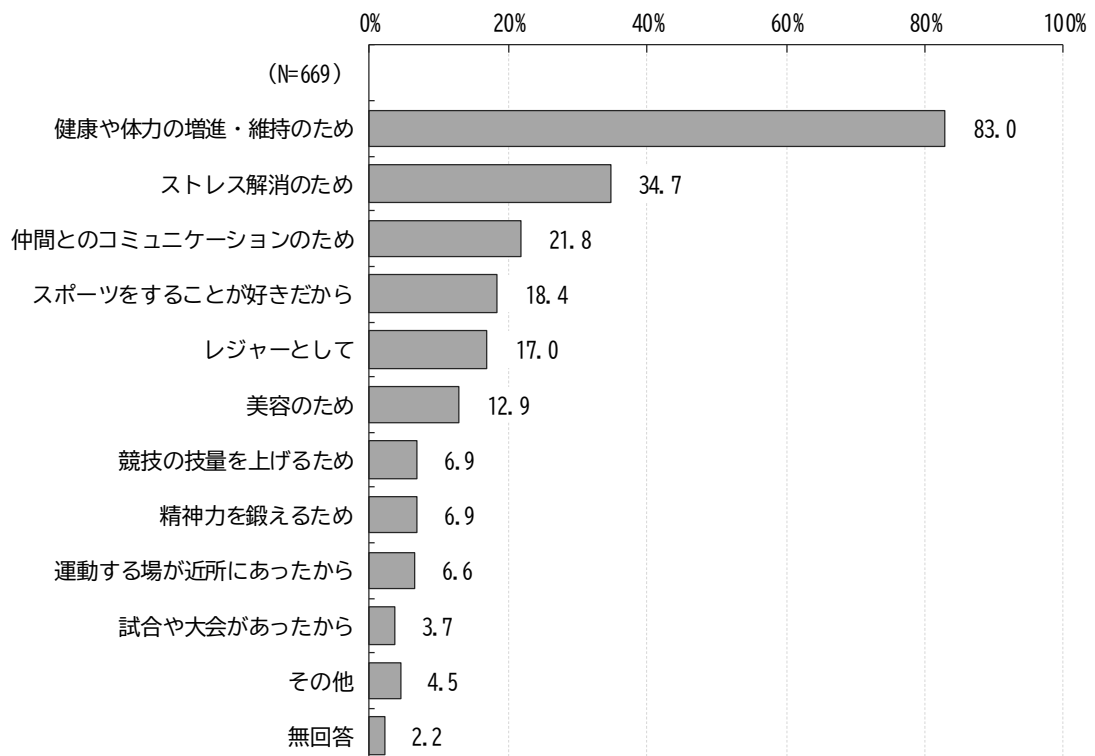
現行計画の
目標運動実施率

65.0%

問11で「運動・スポーツを行わなかった」を選択した人の件数と、問11-1の無回答を除く件数から算出

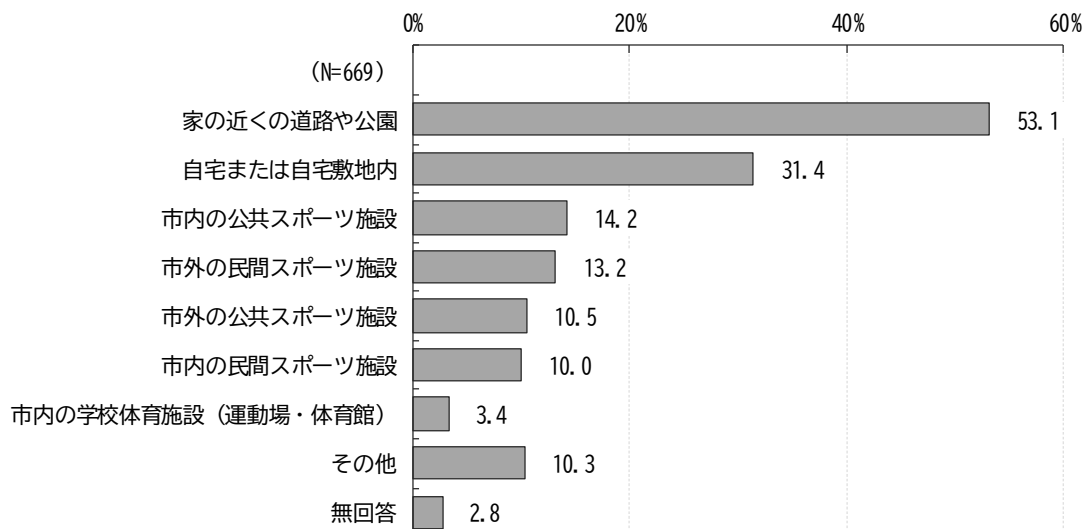
(3) スポーツを行った理由

問 11-2 あなたが、スポーツをするのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)



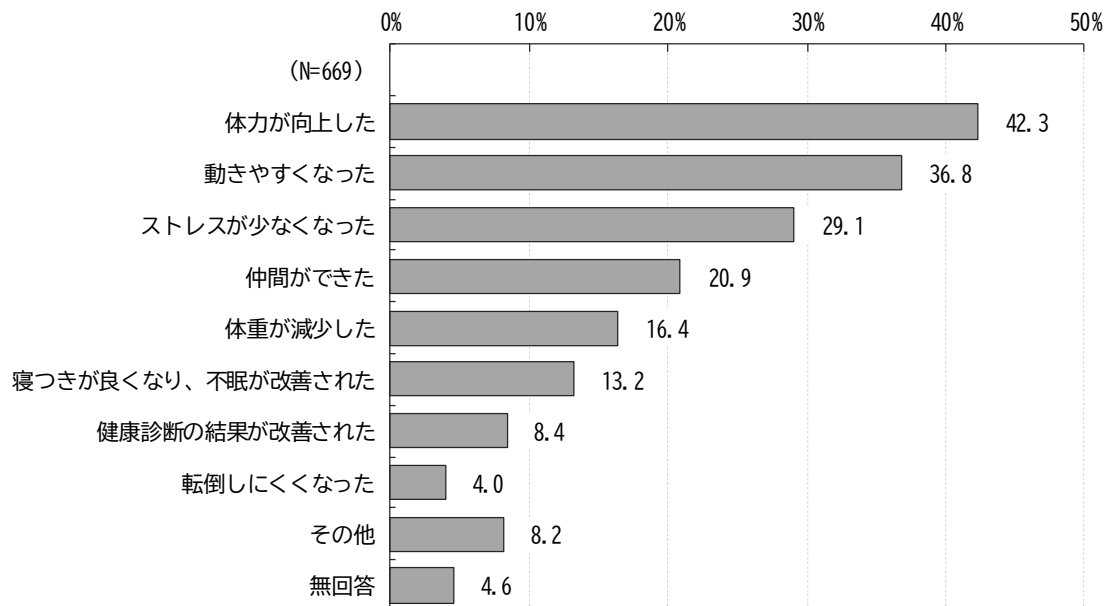
(4) スポーツを行っている場所

問 11-3 あなたは、普段どこでスポーツをしていますか。(〇はいくつでも)



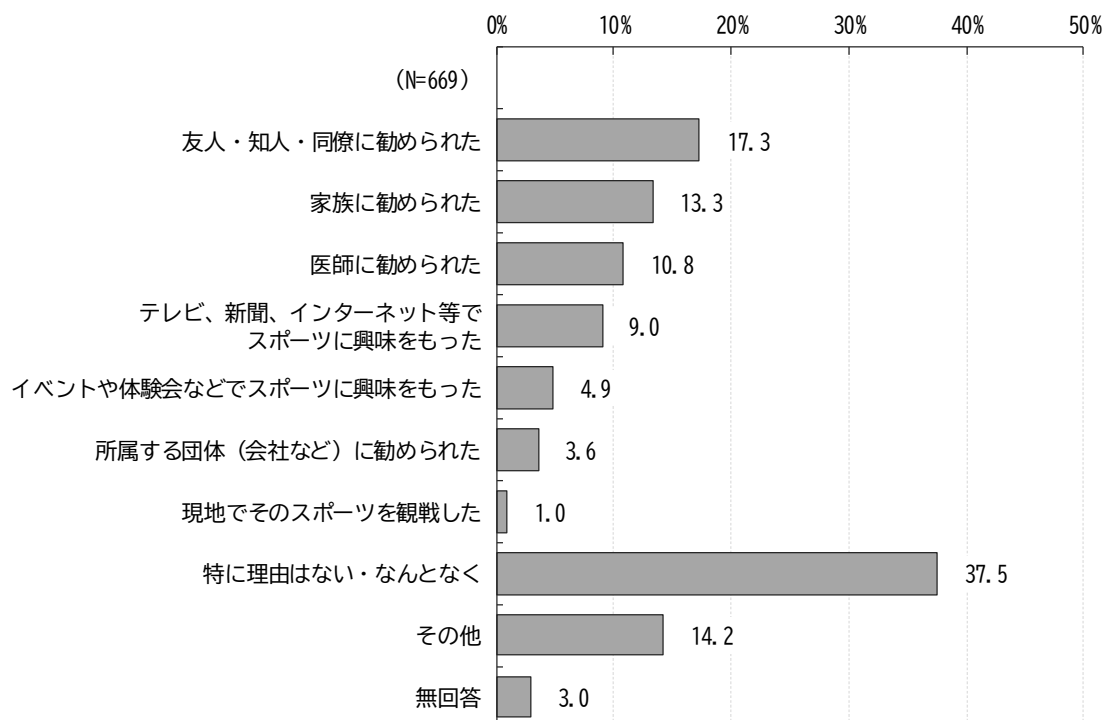
(5) スポーツを行ったことで実感したこと

問 11-4 あなたは、スポーツをすることで、どのようなことを実感していますか。(〇はいくつでも)



(6) スポーツを始めたきっかけ

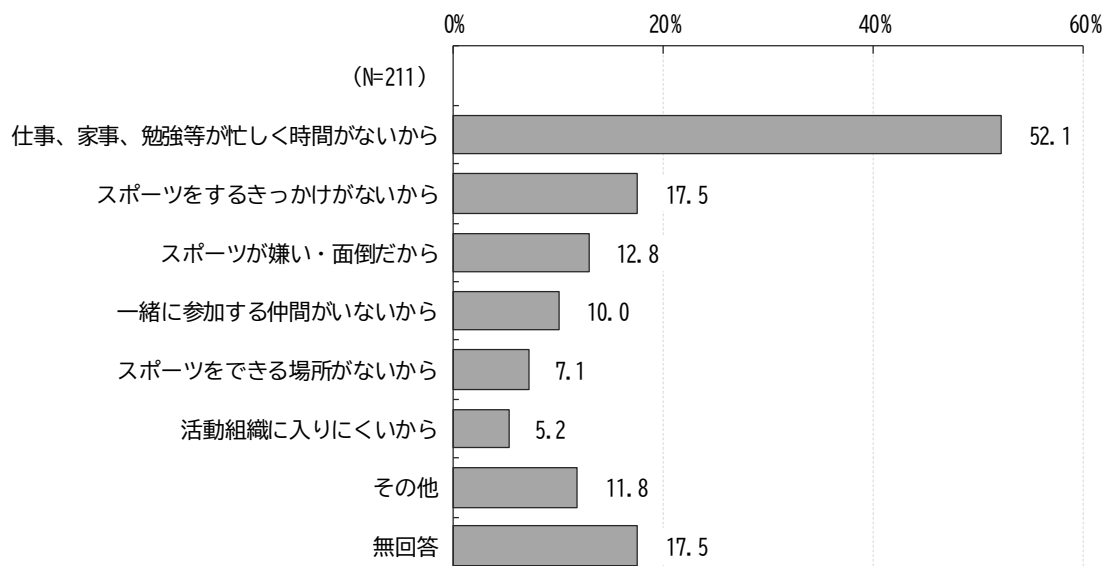
問 11-5 あなたが、スポーツを始めたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)



(7) スポーツを行わなかった理由

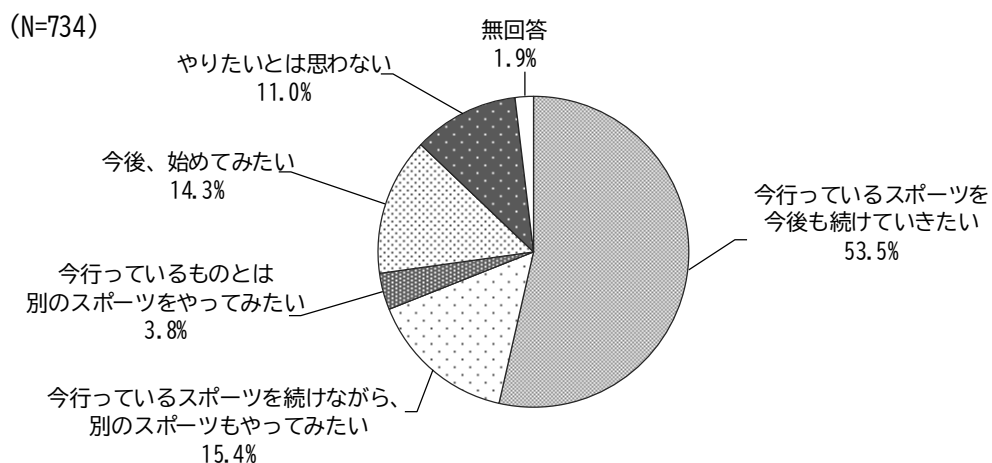
問11-6は、問11で「運動・スポーツを行わなかった」を選択した人、または、問11-1で「月に1～3日程度」から「年に1～3日」のいずれかを選択した人が回答。

問11-6 あなたが、週に1回以上スポーツをしなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)



(8) 今後スポーツを続けていきたいか

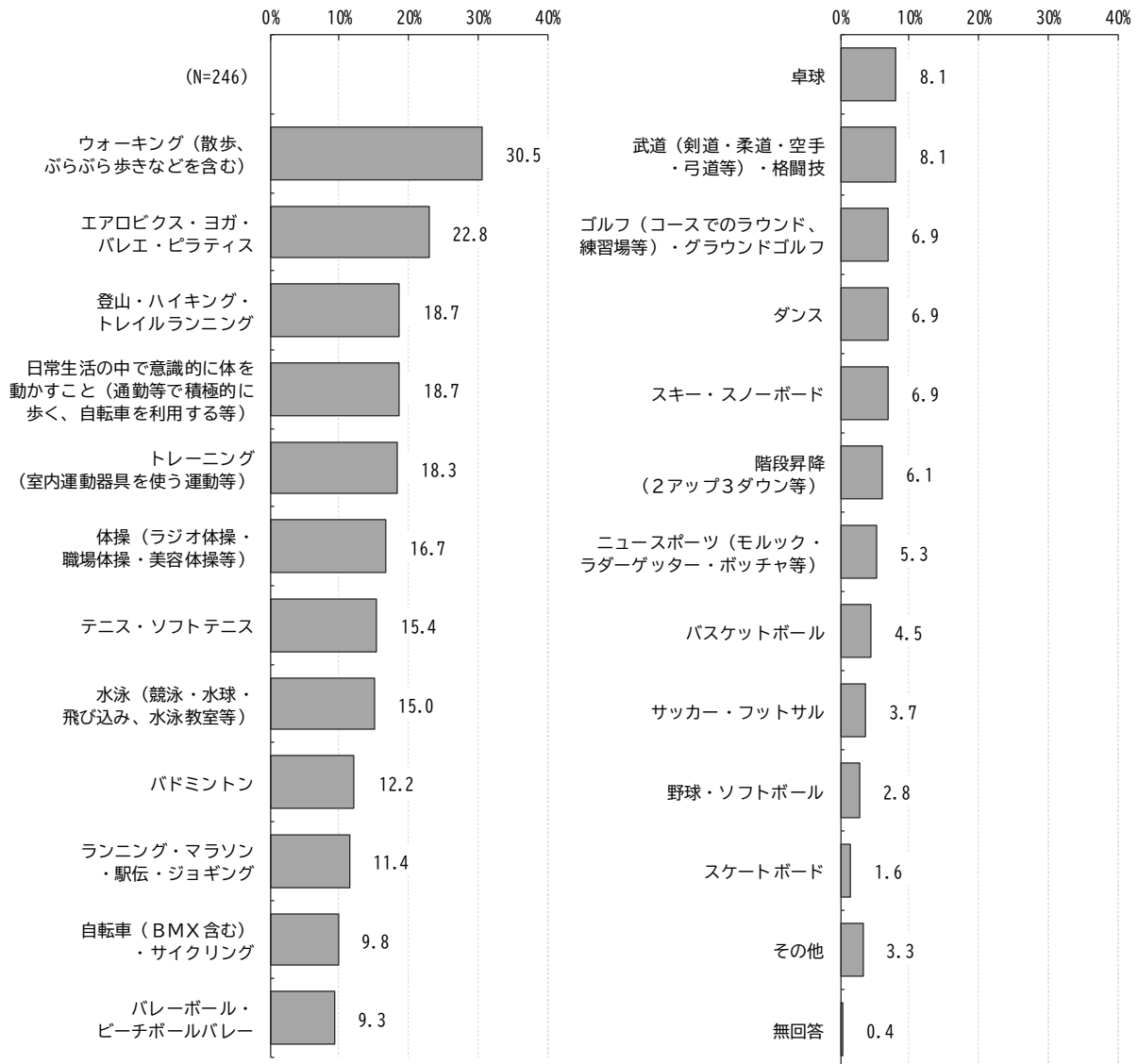
問12 今後スポーツを続けていきたい（やってみたい）と思いますか。(○は1つ)



(9) 今後おこなってみたいスポーツ

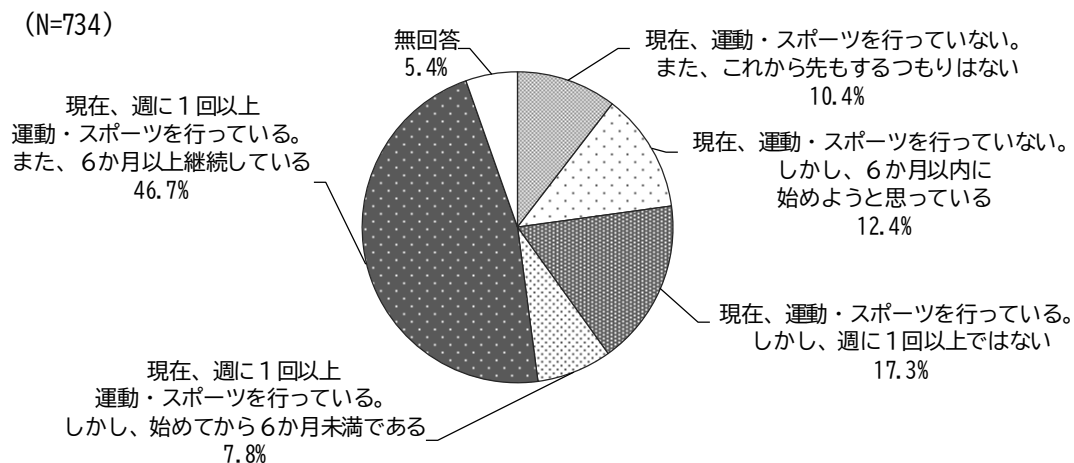
問12-1は、問12で「今行っているスポーツを続けながら、別のスポーツもやってみたい」から「今後、始めてみたい」のいずれかを選択した人が回答。

問12-1 今後、やってみたいと思うスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)



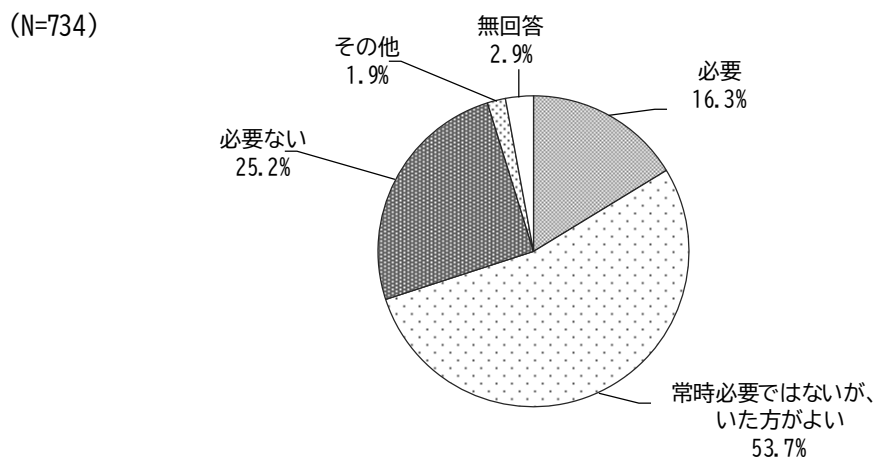
(10) スポーツの実施状況に対する考え方

問 13 あなたの、過去6か月、現在、そしてこれから先の、スポーツの実施状況や考え方について、最も当てはまるものはどれですか。(1つに○)



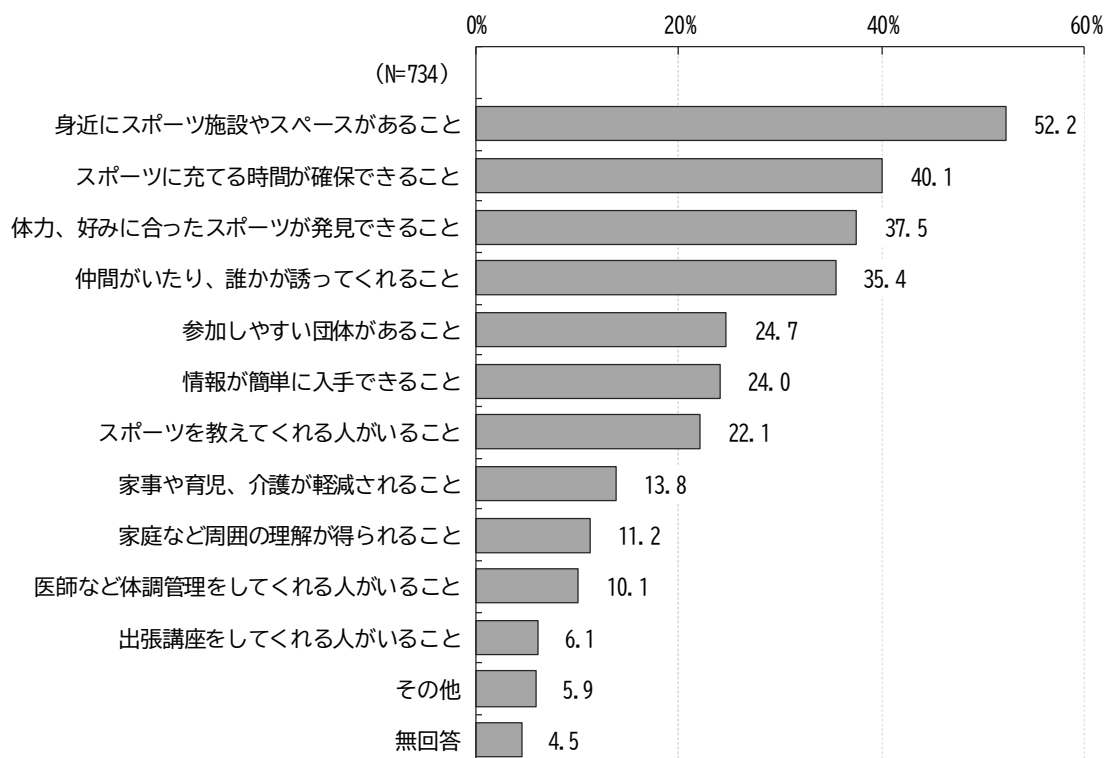
(11) スポーツを行う上で指導者が必要か

問 14 スポーツを行う上で、指導をしてくれる人は必要ですか。(○は1つ)



(12) 何が変われば、今まで以上にスポーツができると思うか

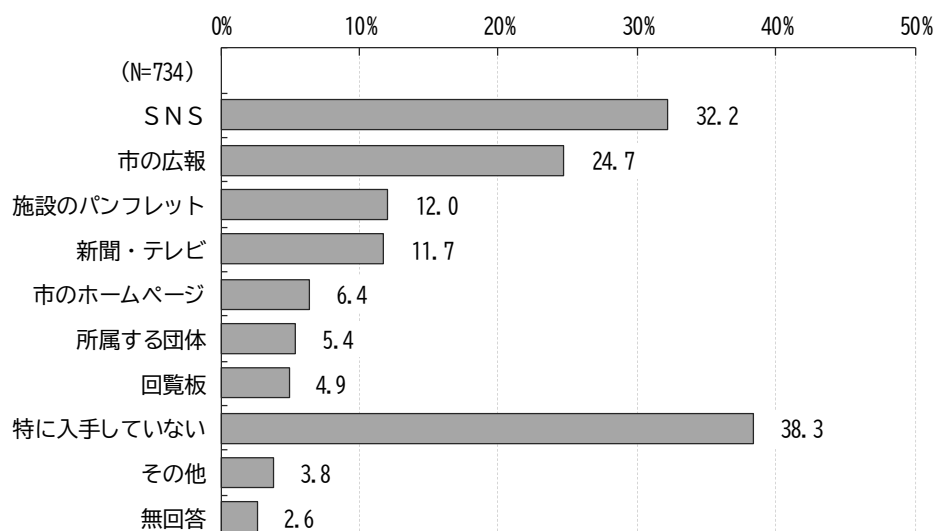
問 15 何が変われば、今まで以上にスポーツができますか。(〇はいくつでも)



4. スポーツ情報の入手等について

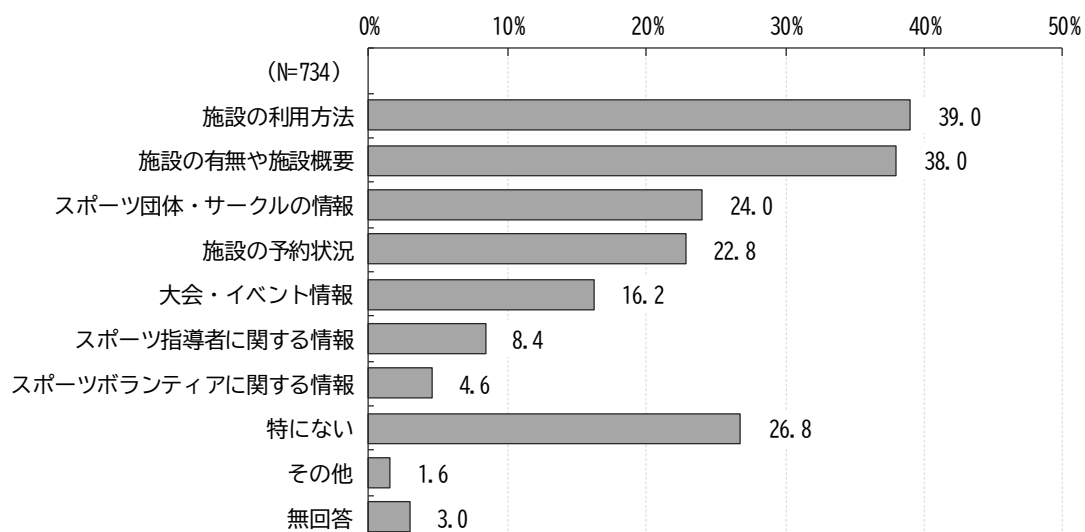
(1) スポーツ情報の入手方法

問16 どのようにしてスポーツ活動の情報を入手していますか。(〇はいくつでも)



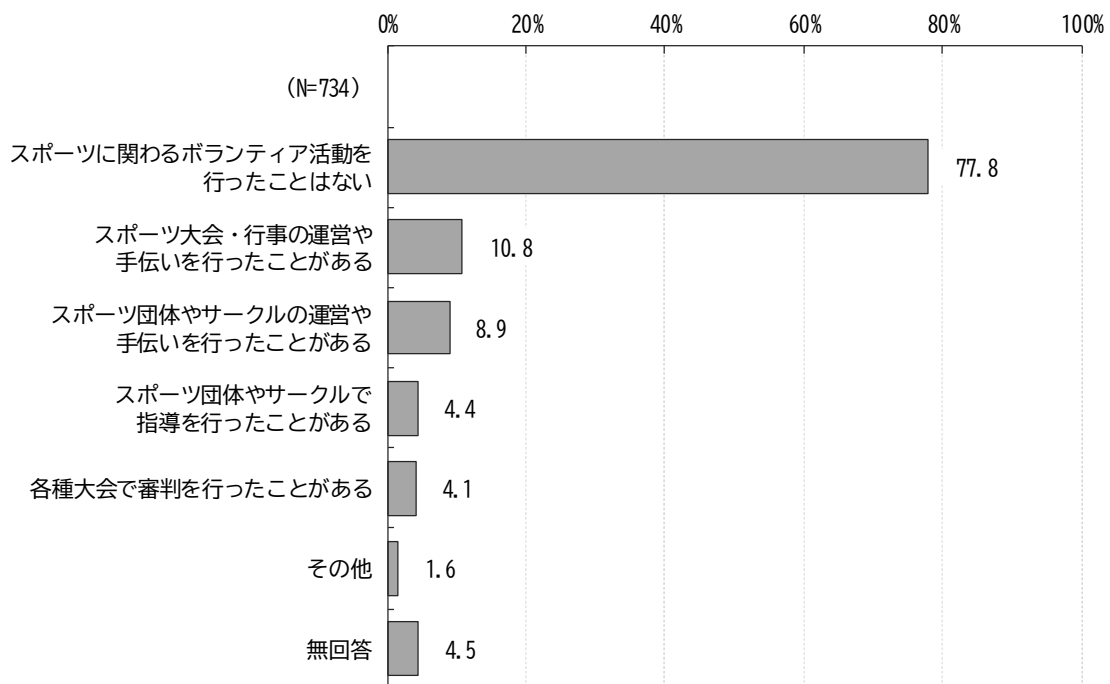
(2) スポーツに関して欲しいと思う情報

問17 スポーツ活動に関して、どのような情報が欲しいですか。(〇はいくつでも)



(3) スポーツに関わるボランティア活動の経験

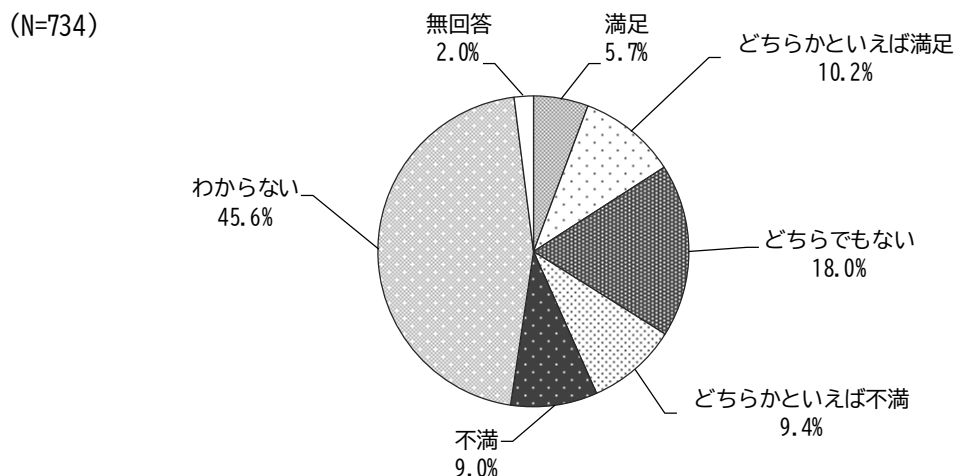
問 18 あなたは、スポーツに関わるボランティア活動を行ったことはありますか。(〇はいくつでも)



5. スポーツを取り巻く環境に関する意識について

(1) 市のスポーツ施設の満足度

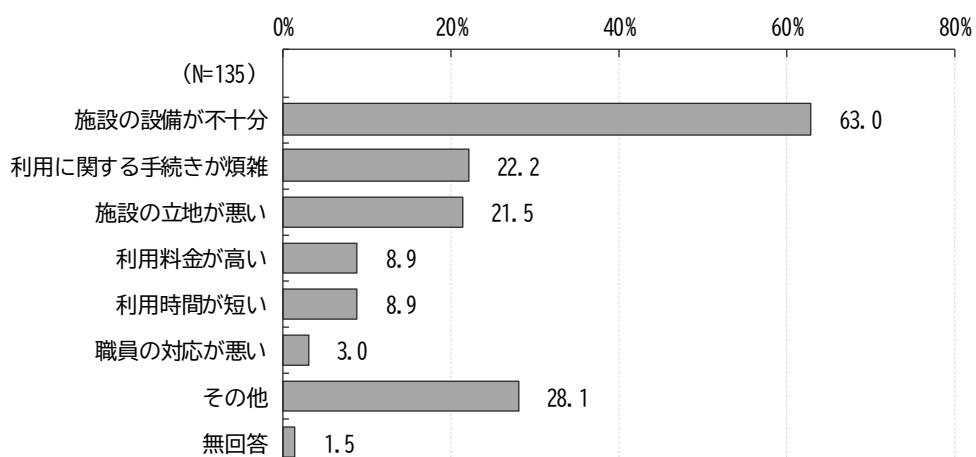
問 19 市が設置するスポーツ施設（杣ヶ池体育館、杣ヶ池テニスコート、菖蒲池テニスコート、市民テニスコート、市民野球場、長久手スポーツの杜）に満足していますか。（○は1つ）



(2) スポーツ施設が不満な理由

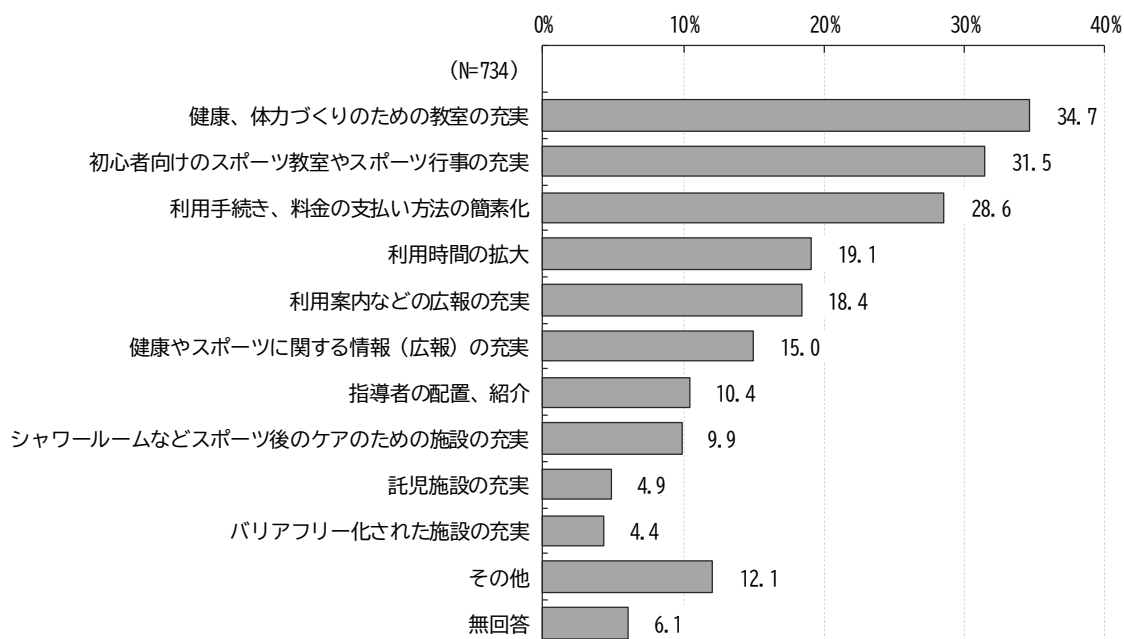
問 19-1 は、問 19 で「どちらかといえば不満」または「不満」のいずれかを選択した人が回答。

問 19-1 市の設置するスポーツ施設に満足していない理由は何ですか。（○はいくつでも）



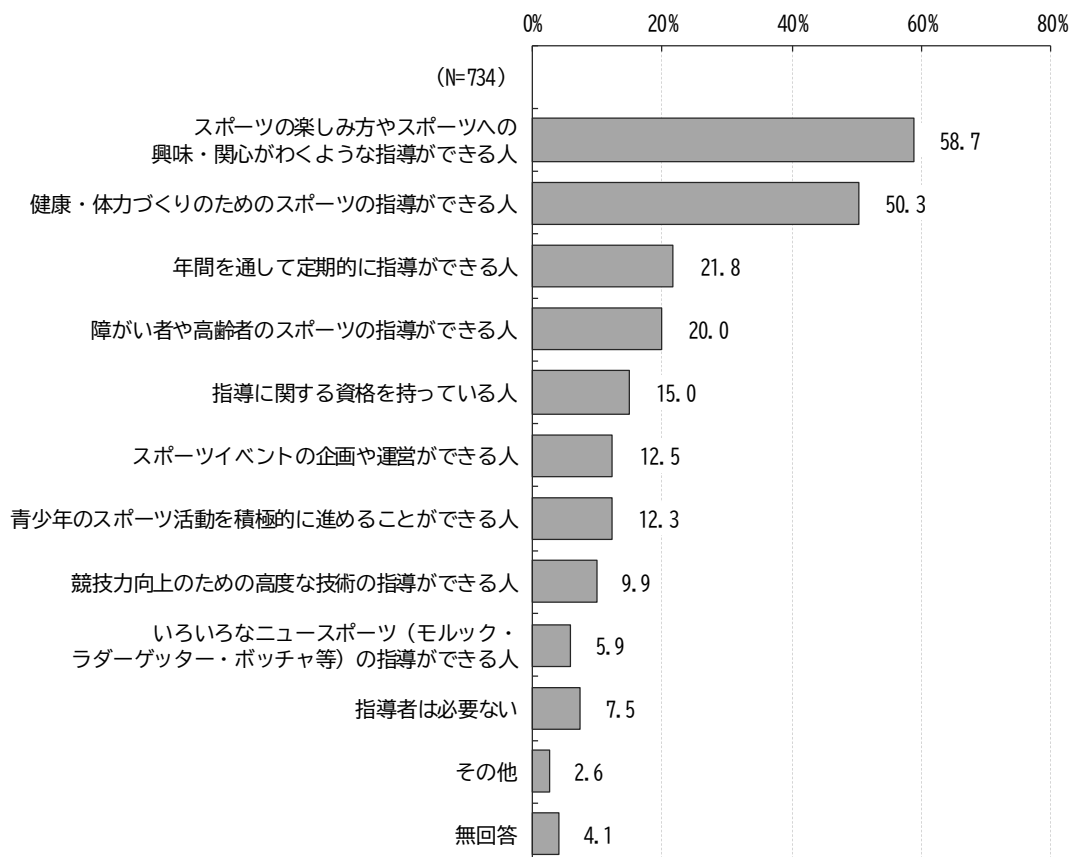
(3) スポーツ施設のサービスに望むこと

問 20 市の設置するスポーツ施設が提供するサービスについて何か望むことがありますか。
(○は3つまで)



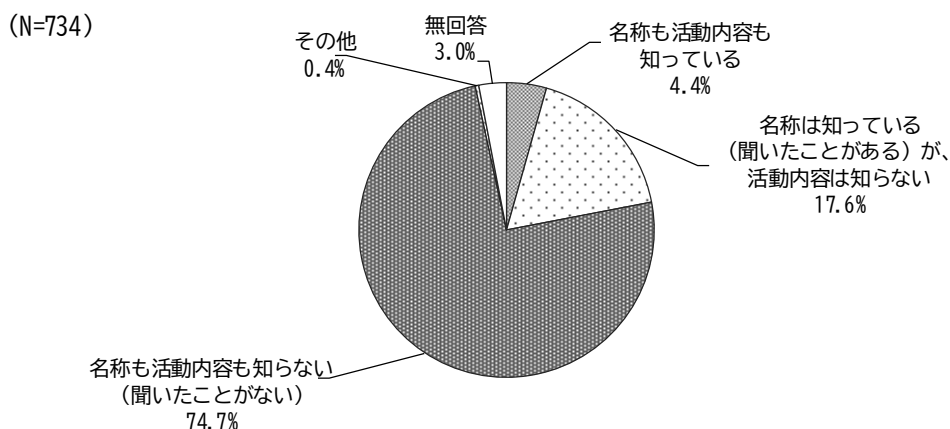
(4) スポーツを行うにあたって必要な指導者

問 21 あなたは、スポーツを行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。
(○はいくつでも)



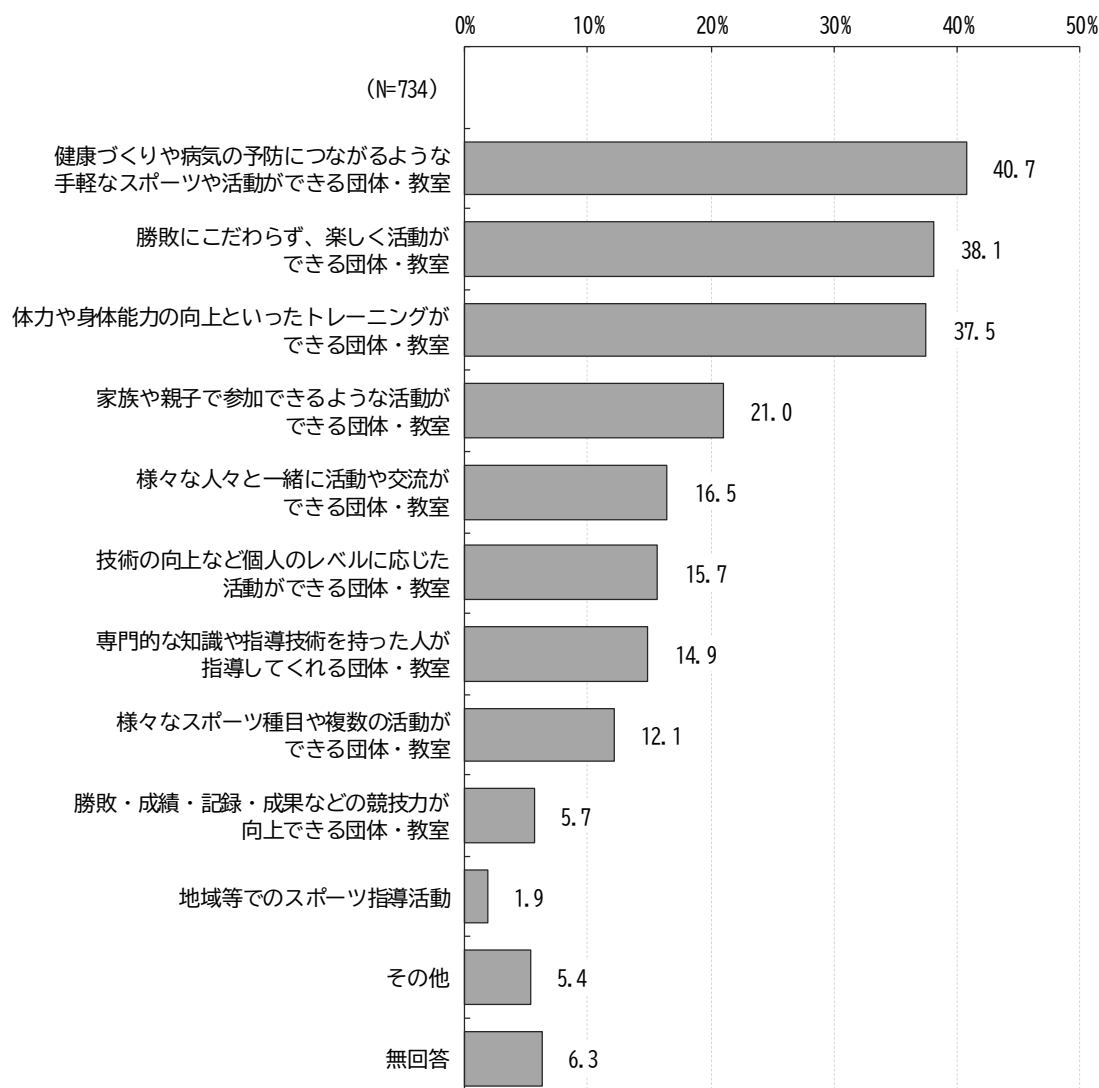
(5) スポーツ推進委員の認知度

問 22 市では、スポーツ推進委員が「ジョギングフェスティバル」や「ニュースポーツフェスティバル」など、市のスポーツ推進を目的に活動していますが、この委員の存在を知っていますか。(○は1つ)



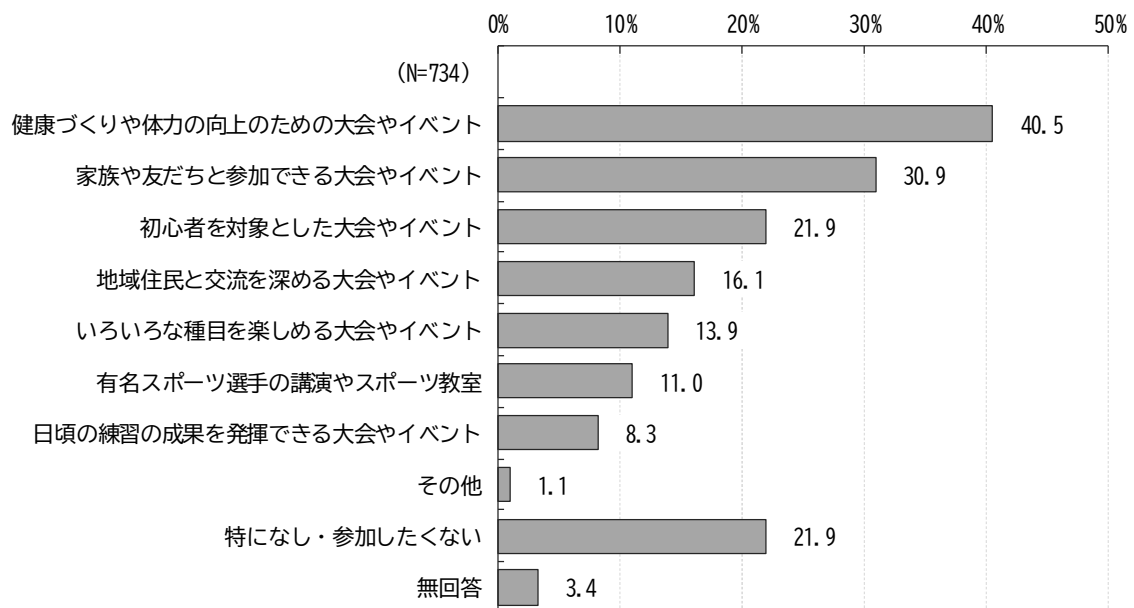
(6) 参加したいスポーツ団体・教室

問 23 どのようなことができるスポーツ団体・教室があれば、参加したいですか。(○はいくつでも)



(7) 参加したいスポーツ活動・イベント

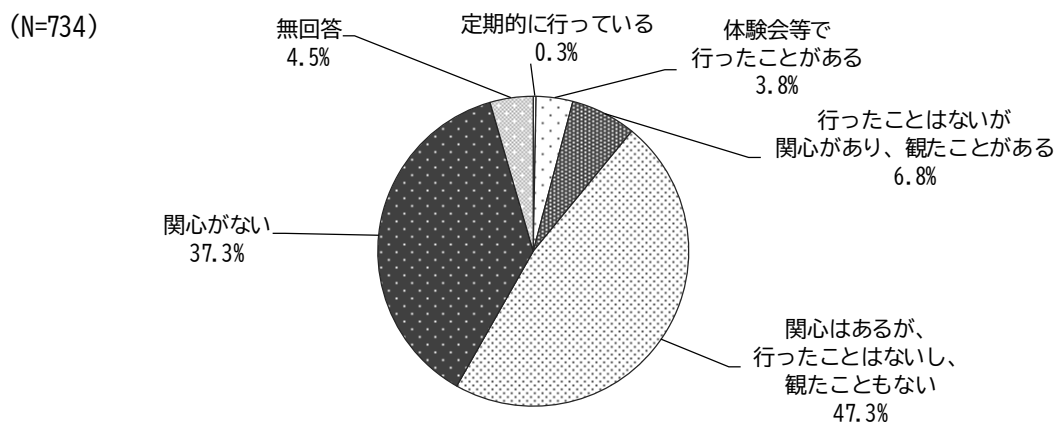
問 24 今後どのようなスポーツ活動やイベントに参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)



6. 障がい者スポーツについて

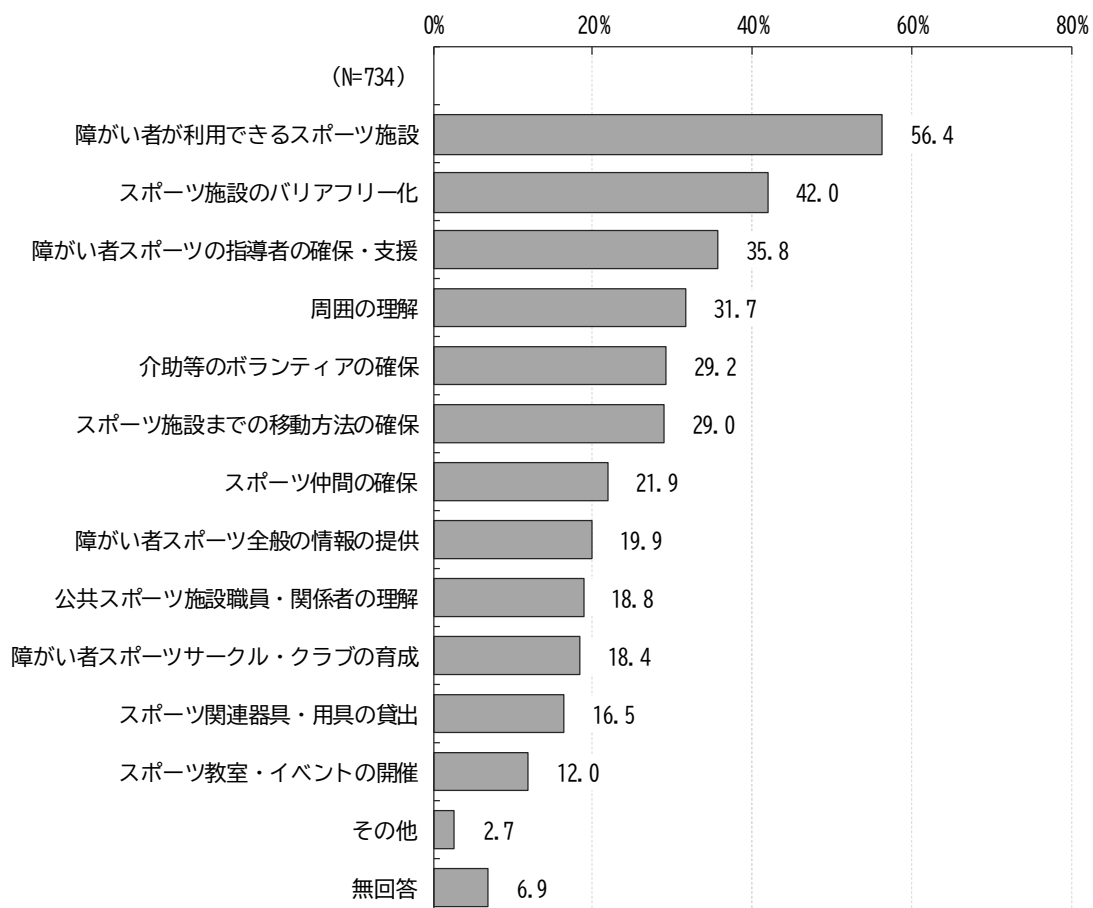
(1) 障がい者スポーツを行った経験の有無

問 25 障がい者スポーツを行った経験、または関心がありますか。(○は1つ)



(2) 障がい者がスポーツを行う上で必要なこと

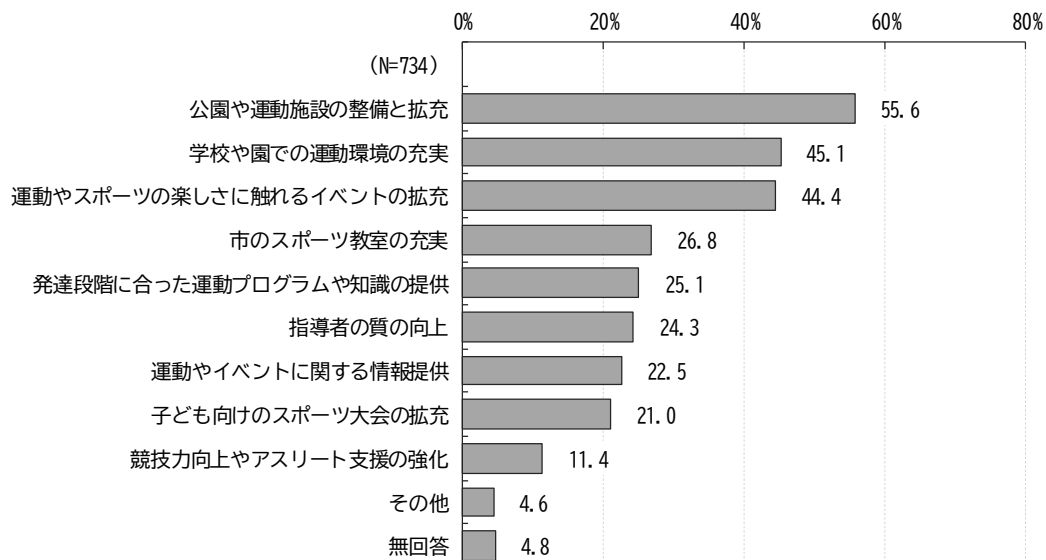
問 26 障がいのある方がスポーツを行う上で何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)



7. スポーツ推進について

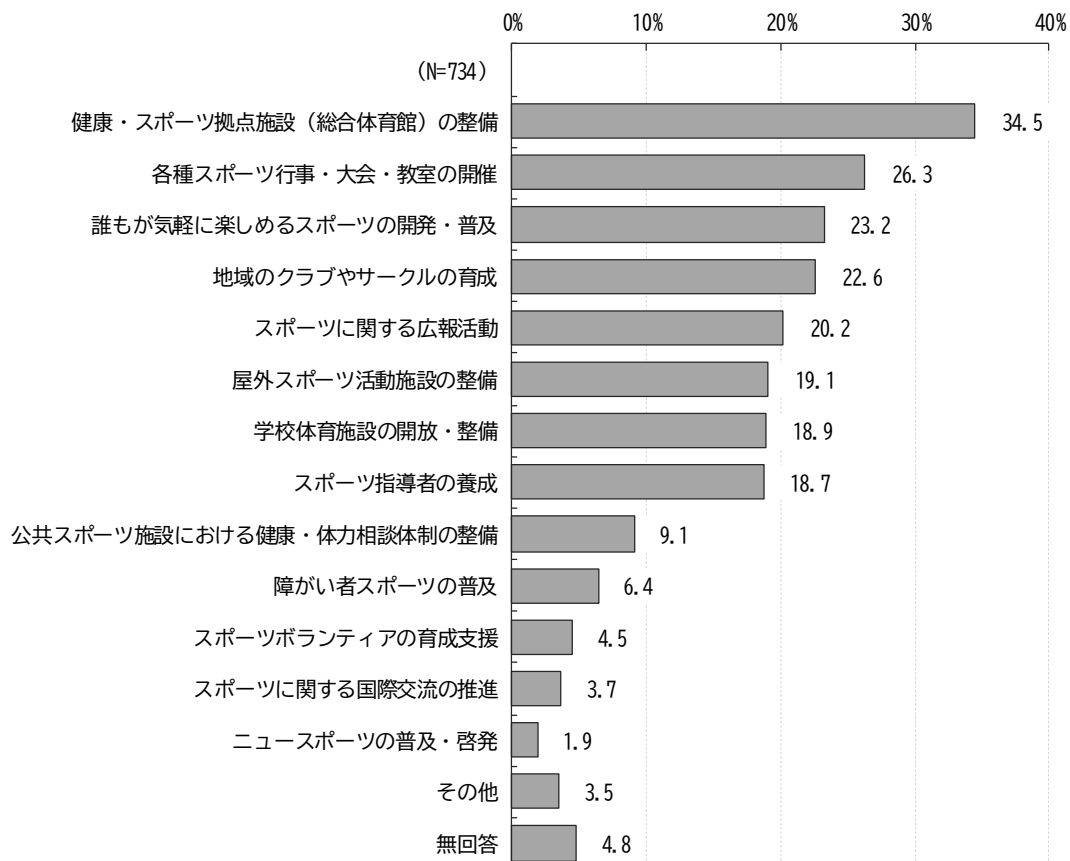
(1) 子どものスポーツ環境に対して力をいれるべきこと

問 27 あなたは、子どものスポーツ環境に対して、今後どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



(2) スポーツ推進のために力を入れるべきこと

問 28 本市のスポーツをもっと推進させるために、市が今後どのようなことに力を入れた方がよいと思いますか。(〇は3つまで)



(3) 自由記述

問 29 今後の市のスポーツ推進にあたって、なにかご意見がある方はご自由にご記入ください。

分 類		件数
(1)	運動・スポーツに取り組む機会やイベント、講座等について	30
(2)	子どものスポーツ環境について	33
(3)	運動・スポーツに関わる施策について	19
(4)	設備やスポーツ施設について	68
(5)	情報提供について	10
(6)	職員・指導者について	6
(7)	その他	14

Ⅱ. 調査結果（団体）

（１）活動上の課題と対策について

問２ 貴団体がスポーツ活動や健康づくり活動を行っていく上での問題点や課題、また、その問題点や課題を解決するために、取り組んでいくことをお答えください。

【課題】

- ・ 体育館等、屋内競技に利用できる施設が少ない。
- ・ 参加チームが減少したことによる、一部のチームスポーツの衰退。
- ・ 会員の減少。
- ・ 高齢の参加者が会場へ向かうための交通手段の確保。
- ・ 主要事業のマンネリ化。
- ・ 参加者や役員の高齢化。
- ・ 新規加入者等が少なく、参加者が固定化してしまっている。

【対策】

- ・ 知人に声をかけるなどして、新規加入者を募集している。
- ・ 活動の内容や場所等の検討をしている。
- ・ 若い会員の役員への登用を図る。
- ・ 他団体に加入を働きかける。

（２）他団体との連携・協力の状況について

問３ スポーツ活動や健康づくり活動を行う上での、他団体との連携・協力の状況をお答えください。

- ・ 自発的な連携、協力は行っていないが、市主催行事への参加の際、スポーツ推進委員や校区体育委員、他団体との連携(交流)を行っている。
また、地域の大学や消防の協力によるスポーツ講習会を実施している。
- ・ リハビリ講習会に、健康づくり講師を派遣してもらっている。
- ・ 男性料理教室での栄養指導を、市の管理栄養士に依頼している。

(3) 市内のスポーツ関連施設の課題と改善点について

問4 市内のスポーツ関連施設において、課題や改善点がある施設と具体的な改善点があればお答えください。

【課題】

- ・ 杵ヶ池体育館のアリーナ面積が小さく、十分な広さが取れないため、正式な試合が出来ない種目が多い。また、サブアリーナが確保されていない。
- ・ 市民野球場は、ベンチが老朽化のために雨漏りしたり、排水が詰まってしまい流れないなど、整備が不十分。
- ・ 市民テニスコートは、経年劣化により土の状態が悪いうえ、コートラインが飛び出していたり、石が出てきていて、ボールが変な方向に跳ねてしまう。
- ・ スポーツの杜では、長年メンテナンスや日常の維持・管理が行われていないため、表面の荒れが顕著である。また、サッカーゴールも経年劣化が目立つ。
- ・ 各施設共通して駐車場の数が少なく、大会参加者の駐車場の確保が課題となっている。
- ・ バリアフリー化を進める必要がある。
車椅子障がい者が杵ヶ池体育館・武道場を利用する場合、移動が困難である。
また、障がい者用トイレについては、温便座やウォシュレットなど機能に配慮が必要である。
- ・ 男性料理教室を継続していく上で、調理室が必要であるが、現在は文化の家食文化室しかなく、会場確保が困難なときがある。

【改善点】

- ・ 上記に挙げたような各施設の整備を行う。
- ・ 使用料が安価なこともあり利用率は高いので、利用者（団体）にも利用時に一定のメンテナンスを課すなどの対応を考えてはどうか。

(4) 今後行ってみたい活動について

問5 貴団体で、行ってみたい若しくは考えているスポーツ活動や健康づくり活動の展望があればお答えください。

- ・ 食生活についての知識の向上など。
- ・ 管理栄養士に依頼して講義・調理実習を行っており、今後も実施予定。
- ・ ニュースポーツの体験や推進。
- ・ 高齢者の健康づくりの推進。

(5) 活動を推進するにあたって必要だと思うことについて

問6 今後、貴団体におけるスポーツ活動や健康づくり活動を推進していく上で、必要だと思うことや感じていることがあればお答えください。

- ・団体としての役割やこれからの在り方を、今一度考える必要があると思われる。
- ・過去に実施した健康測定会の参加者からは、食生活や体を動かすことに対する意識の高さを感じたが、そういったことに強い関心がない一般市民への普及も必要だと思う。
- ・健康づくりの推進については、特定の会場のみではなく、地域で行える環境の整備や計画があると良い。
- ・補助金が減少し、事業を行う際の個人負担が増加しているため、市の補助事業を創設してほしい。

(6) 今後、市が力を入れたほうが良いと思うことについて

問7 市民のスポーツや運動をもっと推進させるために、市が今後力を入れたほうが良いと思うことがあればお答えください。

- ・スポーツ施設の維持管理や更新も重要だと思うが、まずは市内に存在する団体の現状を理解・把握するとともに、団体以外のスポーツ活動の把握、子育て世代の子どもたちに対するスポーツニーズ、高齢者が望むスポーツなどの把握に力を入れてほしい。
- ・ヨガやピラティスなど、初心者でも参加できるような教室が低料金であるといいと思う。
- ・スポーツ推進計画の中に、障がい者ができるスポーツの紹介・体験会等を盛り込んでほしい。
- ・市民を対象とするスポーツ・運動計画を策定し、各団体に働きかけること。現在は市の方向性や団体の育成計画が見えてこない。

(7) その他の要望について

問8 その他、今後スポーツ活動や健康づくり運動を推進していく上での市への要望があればお答えください。

- ・スポーツ教室の参加費を市が負担することで、市民が安い料金で参加できるとありがたい。
- ・他の自治体と比較して、公民館が不足している。健康づくり等の事業を推進するために各地域で会場（公民館等）を確保できるようにしてほしい。
- ・補助金の減少を図っているが、各団体に意図が理解されていない。市のヒアリングでは、団体で収入の在り方を考えるように、との説明があった。各団体をどの様に育成したいのか、市の考えが知りたい。

長久手市スポーツ推進計画 中間見直し
令和7(2025)年 3 月
長久手市教育委員会
くらし文化部 生涯学習課(スポーツ係)
〒480-1196 愛知県長久手市岩作城の内 60 番地 1
電話:0561-63-1111
FAX:0561-63-2100
MAIL:sport@nagakute.aichi.jp

